

第三條 遺失物法第二條ニ依リ賣却ヲ要スル物件ニシテ高價ナリト認ムルモノハ公告シテ競賣ニ付スヘシ但シ即時ニ賣却セザレハ滅失又ハ毀損ノ虞アル物件又ハ公告ノ後競買人ナキ物件ハ此ノ限ニ在ラス

公告ハ其ノ地方慣行ノ方式ニ從ヒ之ヲ爲シ且公告ニハ競賣ニ付スル物件ノ名稱、種類、數量、擔任官吏ノ氏名、執行ノ場所、日時ヲ記スルヲ要ス

第四條 賣却物件ノ引渡ハ代金ト引換ヘ之ヲ爲ス競賣ノ場合ニ於テ最高價競買人競賣當日ニ代金ノ支拂ヲ爲シテ物件ノ引渡ヲ求メサルトキハ更ニ其ノ物件ヲ競賣スヘシ此ノ場合ニ於テハ前ノ最高價競買人ハ競買ニ加ハルコトヲ得ス

第五條 拾得ノ物件國庫ノ所有ニ歸シタルトキハ遺失物法第三條ニ依リ警察費ヨリ支辨シタル保管費公告費其ノ他必要ナル費用ハ國庫ヨリ之ヲ支辨ス

法律第九十四號

(明治三十二年三月二十九日)

國籍喪失者ノ權利ニ關スル法律

日本ノ國籍失ヒタル家族カ日本人ニ非サレハ享有スルコトヲ得サル權利ヲ有スル場合ニ於テ一年內ニ之ヲ日本人ニ讓渡ササルトキハ其權利ハ國庫ニ歸屬ス

內務省令第十號

(明治三十二年四月二十八日)

社團、財團ヲ法人ト爲スニ付申請方

第一條 社團又ハ財團ニシテ民法第三十四條ニ依リ之ヲ法人ト爲スニ付內務大臣ノ許可ヲ要スルモノハ主タル事務所所在地ノ地方長官ヲ經由シ其ノ申請書ニ通テ差出スヘシ其ノ許可ヲ得テ設立シタル法人及民法施行法第十九條ノ法人ニ於テ內務大臣ノ認可ヲ要スル場合亦同シ

第二條 前條ノ法人ヨリ內務大臣ニ差出スヘキ願届書ハ主タル事務所所在地ノ地方長官ヲ經由スヘシ

國籍喪失者ノ權利ニ關スル法律
社團、財團ヲ法人ト爲スニ付申請方

司法省令第十一號 (明治三十二年五月十二日)

不動産登記法施行細則

第一章 登記ニ關スル帳簿

第一條 土地登記簿ハ附錄第一號雛形ニ依リ建物登記簿ハ附錄第二號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第二條 共同人名簿ハ土地共同人名簿及ヒ建物共同人名簿ノ二種トス

共同人名簿ハ登記簿ヲ分設シタル區畫ニ從ヒ別冊ト爲ス但便宜ニ依リ之ヲ合綴スルコトヲ得

共同人名簿ヲ合綴シタル場合ニ於テハ登記簿ヲ分設シタル區畫毎ニ見出ヲ附スヘシ

第三條 土地共同人名簿ハ附錄第三號雛形ニ依リ建物共同人名簿ハ附錄第四號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第四條 登記簿及ヒ共同人名簿ハ登記所ノ請求ニ因リ地方裁判所長之ヲ交付スヘシ

登記所ハ登年中ニ必要ナル帳簿ノ冊數及ヒ各冊ノ枚數ヲ見積リ毎年十一月中ニ請求ヲ爲スヘシ但區裁判所出張所ノ帳簿ハ管轄區裁判所ヨリ之ヲ請求スヘシ

豫定外ニ帳簿ノ必要ヲ生シタルトキハ臨時其請求ヲ爲スコトヲ得

第五條 登記簿及ヒ共同人名簿ノ用紙ニハ豫メ丁數ヲ記入スヘシ

第六條 土地登記見出帳ハ附錄第五號雛形ニ依リ土地分合登記見出帳ハ附錄第六號雛形ニ依リ建物登記見出帳ハ附錄第七號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第七條 土地登記見出帳ニハ土地ノ番號ヲ逐ヒ豫メ各筆ノ見出欄ヲ設ケ置キ登記用紙ニ登記番號ヲ記載スル毎ニ其登記用紙ヲ編綴セラル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ登記番號ヲ記入スヘシ

第八條 土地分合登記見出帳ニハ豫メ一ノ部ヨリ九ノ部マテヲ設ケ置キ土地ノ分合ニ關スル登記ヲ爲ス時ニ其土地ノ番號ノ頭字ニ依リ相當ノ部十百千ノ數ヲ冠スルモノニ土地ノ番號、登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ登記番號ヲ記入スヘシ但土地カ合併ニ因リ二箇以上ノ番號ヲ有スルトキハ其少キ番號ノ部ニノミ記入スヘシ

不動産登記法施行細則

前項ノ記入ヲ爲シタルトキハ土地登記見出帳ノ備考欄ニ事由ヲ記入シ其見出ヲ朱抹スヘシ

第九條 建物登記見出帳ニハ豫メ一ノ部ヨリ九ノ部マテヲ設ケ置キ登記用紙ニ登記番號ヲ記載スル毎ニ敷地ノ番號ノ頭字ニ依リ相當ノ部ニ敷地ノ番號、登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ登記番號ヲ記入シ若シ建物ノ番號アルトキハ其番號ヲモ記入スヘシ但敷地カ二箇以上ノ番號ヲ有スルトキハ其少キ番號ノ部ニノミ記入スヘシ

第十條 登記用紙ヲ閉鎖シタルトキハ見出帳ノ備考欄ニ事由ヲ記入シ其見出ヲ朱抹スヘシ

第十一條 受附帳ハ附録第八號雛形ニ依リ毎年之ヲ調製スヘシ

第十二條 受附番號ハ一个年毎ニ更新スヘシ

第十三條 受附帳ニ申請人ノ氏名ヲ記載スル場合ニ於テ登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ申請書ニ掲ケタル筆頭ノ者ノミノ氏名及ヒ他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

第十四條 登記所ニハ登記簿、共同人名簿、見出帳及ヒ受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フ

- 一 謄本抄本交付帳
- 二 申請書囑託書附屬書類綴込帳
- 三 圖面綴込帳
- 四 受領證原符元帳
- 五 各種通知簿
- 六 登記立會調書綴込帳
- 七 決定原本綴込帳
- 八 登記簿謄本綴込帳
- 九 土地臺帳謄本
- 十 土地異動通知書綴込帳
- 十一 土地登記濟通知簿
- 十二 抗告書類綴込帳
- 十三 本登記濟證交付帳
- 十四 印鑑簿

第十五條 申請書、囑託書並ニ附屬書類ハ受附番號ノ順序ニ依リテ之ヲ編綴スヘシ

第十六條 圖面ニハ申請書受附ノ年月日、受附番號及ヒ登記番號ヲ記載シ受附番號ノ順序ニ依リテ之ヲ編綴シ丁數ヲ附スヘシ

第十七條 不動産登記法第四十四條ノ規定ニ依リ申請書ニ添附シタル書面二通ノ内一通ハ登記所ニ之ヲ保存スヘシ

第十八條 第十四條第五號ノ通知簿ニハ、不動産登記法第六十一條、第六十三條、第七十五條第一項、第一百十四條第二項、第二百二十六條

第二項及ヒ本令第六十九條ノ通知事項ヲ記入シ通知書ト契印スヘシ

第十九條 不動産登記法第十一條第二項ノ規定ニ依リ土地臺帳所管廳ヨリ受ケタル通知書ハ登記簿ヲ分設シタル區畫ニ從ヒ之ヲ編綴シ丁數ヲ附スヘシ但便宜ニ依リ之ヲ合綴スルコトヲ得

第二十條 事變ヲ避クル爲メ登記簿又ハ其附屬書類ヲ登記所外ニ持出シタルトキハ登記官吏ハ速ニ其旨ヲ司法大臣ニ具申スヘシ

第二十一條 裁判所又ハ豫審判事ヨリ申請書其他ノ附屬書類ヲ送付

スヘキ命令又ハ囑託アリタルトキハ登記官吏ハ其關係アル部分ニ限リ之ヲ送付スヘシ

第二十二條 登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタルトキハ登記官吏ハ遲滯ナク其事由、年月日、滅失セシ登記簿ノ冊數其他不動産登記

法第二十三條ノ告示ヲ爲スニ必要ナル事項ヲ詳細ニ記載シ且回復登記期間ヲ豫定シ地方裁判所長ニ申報スヘシ但區裁判所出張所ノ

申報ハ管轄區裁判所ヲ經由スヘシ
地方裁判所長カ前項ノ申報ヲ受ケタルトキハ相當ノ調査ヲ爲シタル後司法大臣ニ具申ヲ爲スヘシ

第二十三條 登記簿及ヒ其附屬書類ノ滅失スル虞アルトキハ詳細其狀況ヲ取調ヘ且處分方法ヲ具シ前條ノ例ニ準シ申報又ハ具申ヲ爲スヘシ

第二十四條 登記所ニ於テ登記ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ廢毀セントスルトキハ目錄ヲ作り地方裁判所長ノ認可ヲ受クヘシ但區裁判所

出張所カ認可ヲ請フトキハ管轄區裁判所ヲ經由スヘシ

第二十五條 不動産ノ所有者ハ其本籍地又ハ所在地ノ市、區、町村

長市、區、町、村、長ナキ地ニ
於テハ其職務ヲ行フ吏員
スル登記所ニ提出スヘシ改印ヲ爲シタルトキ亦同シ

不動産ヲ所有スル法人又ハ外國會社ノ代表者ハ法人又ハ外國會社
ノ登記ニ關シ印鑑ヲ提出シタル登記所ノ證明ヲ得タル印鑑ヲ不動
產所在地ヲ管轄スル登記所ニ提出スヘシ但法人又ハ外國會社ノ登
記ニ關シ印鑑ヲ提出シタル登記所ト不動産所在地ヲ管轄スル登記
所ト同一ナルトキハ此限ニ在ラス

第二十六條 印鑑ハ附錄第九號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二十七條 印鑑簿調製ノ様式及ヒ貼附ノ方法等ハ地方裁判所長之
ヲ定ムヘシ

第二十八條 第二十五條ノ規定ハ官廳及ヒ公署ニハ之ヲ適用セス

第二十九條 登記簿ノ謄本若クハ抄本ノ交付又ハ登記簿若クハ附屬
書類ノ閱覽ヲ請求スル者ハ申請書ヲ提出スヘシ

代理人カ前項ノ請求ヲ爲ストキハ申請書ニ其權限ヲ證スル書面ヲ
添附スヘシ

第三十條 土地登記簿謄本ノ交付又ハ土地登記簿若クハ附屬書類ノ

閱覽ヲ請求スル場合ニ於テハ其申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人
署名捺印スヘシ但閱覽ヲ請求スル申請書ニハ利害ノ關係アル事由
ヲ記載シ又ハ其事由ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

一 土地所在ノ郡、市、區、町、村、字及ヒ土地ノ番號

二 手数料ノ金額

三 登記所ノ表示

四 年月日

第三十一條 土地登記簿抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ其申請
書ニ前條ニ掲ケタル事項ノ外抄本ノ交付ヲ請求スル部分ヲ記載シ
申請人署名捺印スヘシ

第三十二條 前二條ノ規定ハ建物登記簿ノ謄本若クハ抄本ノ交付又
ハ建物登記簿若クハ附屬書類ノ閱覽ノ請求ニ之ヲ準用ス但建物ノ
番號アルトキハ申請書ニ其番號ヲモ記載スヘシ

第三十三條 不動産登記法第二十一條第二項ノ郵送料ハ郵便切手ヲ
以テ之ヲ納付スヘシ

第三十四條 登記官吏カ第二十九條ノ申請書ヲ受取リタルトキハ受

附帳ニ請求ノ目的、申請人ノ氏名、受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シタル上受附番號ノ順序ニ從ヒテ相當ノ處分ヲ爲スヘシ
第三十五條 登記簿ノ謄本ハ登記簿ト同一様式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作リ其末尾ニ左ノ認證文ヲ記載シタルモノヲ添附シテ契印ヲ爲シ登記官吏之ニ年月日ヲ記載シテ署名捺印シ且登記所ノ印ヲ押捺スヘシ

此謄本ハ登記簿ニ依リ之ヲ作り茲ニ登記簿ト相違ナキコトヲ認證ス

前項ノ規定ハ登記簿ノ抄本ニ之ヲ準用ス但抄本用紙ハ美濃野紙ヲ用テヘシ

第三十六條 登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ交付スルトキハ謄本抄本交付帳ニ謄本又ハ抄本ノ區別、交付ノ年月日及ヒ申請人ノ氏名ヲ記載シ謄本又ハ抄本ト契印スヘシ
前項ノ規定ハ登記簿ノ謄本ヲ他ノ登記所ニ移送スル場合ニ之ヲ準用ス

第三十七條 登記簿又ハ附屬書類ノ閱覽ハ登記官吏ノ面前ニ於テ之

ヲ爲サシムヘシ

第二章 登記申請ノ手續

第三十八條 登記ヲ申請スルニハ申請書ニ其登記ヲ申請スルニ必要ナル事項ノ外登録稅額ヲ記載スヘシ但登録稅法第二條第一項第一號乃至第十七號ノ登記ニ付テハ課稅標準ノ價格ヲモ記載スヘシ

第三十九條 申請書カ數葉ニ涉ルトキハ申請人ハ每葉ノ綴目ニ契印スヘシ但登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ其一人ノ契印ヲ以テ足ル

第四十條 登記原因ヲ證スル書面カ初ヨリ存在セス又ハ之ヲ提出スルコト能ハサルトキハ申請書ニ其旨ヲ記載スヘシ

第四十一條 不動産カ數箇ノ登記所ノ管轄地ニ跨カル場合ニ於テ裁判所ノ指定シタル管轄登記所ニ登記ヲ申請スルトキハ申請書ニ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第四十二條 不動産登記法第二百二十八條又ハ第三百三十條ノ規定ニ依リテ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テ登記スヘキ權利ノ目的タル不動産カ建物ナルトキハ申請書ニ圖面ヲ添附スヘシ

不動産登記法施行細則

第四十三條 建物ノ圖面ニハ不動産登記法第三十六條第一號、第二號並ニ第三十七條ニ掲ケタル事項及ヒ敷地ノ方位並ニ建物ノ形狀、間尺、位置ヲ記載シテ申請人署名捺印スヘシ

圖面ハ總テ墨引、墨字ト爲シ若シ登記ノ目的外ナル建物アルトキハ其圖ハ朱引、朱字ト爲スヘシ

圖面ハ美濃紙ヲ以テ之ヲ調製スヘシ

第四十四條 登記原因及ヒ登記ノ目的カ同一ニシテ且登録稅法第二條第一項第十號及ヒ第十二號乃至第十六號ノ規定ニ依リ登録稅ヲ納付スヘキ場合ニ於テ數箇ノ登記所ノ管轄内ニ在ル數箇ノ不動産ニ關スル權利ノ登記ヲ申請スルトキハ最初ニ登記ヲ申請スル登記所ニ登録稅ノ全額ヲ納付スヘシ
前項ノ規定ニ從ヒ登録稅ヲ納付シタルトキハ登記官吏ハ登記ヲ申請スヘキ登記所ノ數ニ應シ登録稅ノ受領證ヲ申請人ニ交付スヘシ但三通以上ノ受領證ヲ交付スルトキハ各通ニ番號ヲ附スヘシ
申請人カ他ノ登記所ニ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ受領證ヲ添付スヘシ

第四十五條 不動産登記法第四十四條ノ場合ニ於テハ申請書ニ登記濟證カ滅失シタル旨ヲ記載スヘシ

第四十六條 不動産登記法第四十四條ニ掲ケタル書面ニハ左ノ諸件ヲ記載シ保證人署名捺印スヘシ

- 一 登記ヲ受クヘキ不動産ノ表示及ヒ登記ノ目的
- 二 登記義務者ノ人違ナキコト
- 三 保證人カ其登記所ニ於テ登記ヲ受ケタル不動産ノ表示及ヒ年月日又ハ登記番號
- 四 保證人ノ住所、年齢
- 五 年月日

第三章 登記手續

第四十七條 登記官吏カ申請書ヲ受取リタルトキハ遲滯ナク申請ニ關スル總テノ事項ヲ調査スヘシ

第四十八條 登記番號ハ不動産登記法施行ノ日ヨリ更ニ新ナル番號ヲ附スヘシ

第四十九條 表示欄ニ登記ヲ爲シタルトキハ表示番號欄及ヒ表示欄

ニ縦線ヲ劃シ事項欄ニ登記ヲ爲シタルトキハ順位番號欄及ヒ事項欄ニ縦線ヲ劃シテ餘白ト分界スヘシ

假登記ヲ爲シタルトキハ事項欄ノミニニ縦線ヲ劃シ其左側ニ本登記ヲ爲シ得ヘキ相當ノ餘白ヲ存シタル上順位番號欄及ヒ事項欄ニ縦線ヲ劃スヘシ

第五十條 登記ノ申請書ニ圖面ヲ添附シタル場合ニ於テハ登記用紙中表示欄ニ爲シタル登記ノ末尾ニ圖面綴込帳ノ冊數及ヒ丁數ヲ記載スヘシ

第五十一條 申請書ニ記載シタル代理人ノ氏名、住所ハ登記簿ニ之ヲ記載スルコトヲ要セス

第五十二條 不動産登記法第七十六條第一項ノ場合ニ於テハ新用紙中登記番號ノ左側ニ其番號ノ第二ナルコトヲ附記シ前用紙中登記番號ノ左側ニ第一ノ文字ヲ追記スヘシ

前項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス
第五十三條 不動産登記法第五十一條ノ規定ニ依リ共同人名簿ニ記載ヲ爲スニハ番號欄ニ番號ヲ記載シ氏名、住所欄ニ登記權利者又

ハ登記義務者ノ全員ノ氏名、住所ヲ記載シ豫備欄ニ登記番號、申請書受附ノ年月日、受附番號及ヒ順位番號ヲ記載シテ登記官吏捺印スヘシ

第五十四條 共同人名簿ニ登記權利者又ハ登記義務者ノ氏名、住所等ヲ記載シタルトキハ氏名、住所欄及ヒ持分欄ニ於ケル縦線ヲ番號欄及ヒ豫備欄ニ延長シテ餘白ト分界スヘシ

登記原因ニ持分ノ定ナキトキハ持分欄ニハ朱線ヲ交又スヘシ
第五十五條 共同人名簿ニ記載シタル登記權利者又ハ登記義務者ノ氏名、住所ノ變更又ハ持分ノ移轉若クハ變更ニ付キ登記簿ニ登記ヲ爲シタルトキハ人名簿中豫備欄ニ登記ノ目的タル新ナル事項、申請書受附ノ年月日、受附番號及ヒ順位番號ヲ記載シ登記官吏捺印シ前ニ記載シタル事項ヲ朱抹スヘシ

第五十六條 前條ノ場合ニ於テ豫備欄ニ餘白ナキトキハ新ニ番號欄ニ前番號ヲ轉寫シ其左側ニ第二ノ文字、前番號ノ用紙ヲ編綴セル共同人名簿ノ冊數、丁數及ヒ其繼續用紙ナルコトヲ記載シ氏名、住所欄ニ登記權利者又ハ登記義務者ノ氏名ノミヲ記載シ持分欄ニハ

朱線ヲ交叉シ豫備欄ニ登記ノ目的タル新ナル事項、申請書受附ノ年月日、受附番號及ヒ順位番號ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ
前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ前用紙ノ番號ノ左側ニ第一ノ文字、繼續用紙ヲ編綴セル共同人名簿ノ冊數、丁數及ヒ之ニ繼續スル旨ヲ記載スヘシ

前二項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス
第五十七條 共同人名簿ニ記載ヲ爲シタル場合ニ於テハ登記用紙中相當區事項欄ニ爲シタル登記ノ末尾ニ共同人名簿ニ於ケル番號ヲ記載スヘシ

第五十八條 登記シタル權利ノ順位ヲ讓渡シ又ハ拋棄シタル場合ニ於テ變更登記ヲ爲シタルトキハ其權利ノ登記ノ順位番號ノ左側ニ變更登記ノ順位番號ヲ記載スヘシ

第五十九條 附記登記ヲ爲シタルトキハ主登記ノ順位番號ノ左側ニ附記番號ヲ記載スヘシ

第六十條 登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタルニ因リ登記回復ノ登記ヲ爲シタルトキハ前登記ノ登記濟證ニ不動産登記法第六十條

第一項ノ手續ヲ爲シタル上之ヲ申請人ニ還付スヘシ

第六十一條 土地臺帳所管應ヨリ土地ノ異動ニ關スル通知アリタル場合ニ於テ其土地カ既登記ナルトキハ見出帳中相當欄ニ其通知書ヲ編綴セル土地異動通知書綴込帳ノ冊數及ヒ丁數ヲ記入シ其土地カ未登記ナルトキハ土地臺帳謄本ノ別冊ニ其土地ニ關スル事項ヲ記載シ備考欄ニ土地臺帳謄本原簿第何冊第何丁第何行ヨリ移シタル旨ヲ記入シ土地臺帳謄本原簿ノ備考欄ニハ別冊第何冊第何丁第何行ニ移シタル旨ヲ記入スヘシ

異動ノ通知ヲ受ケタル既登記ノ土地ニ付キ其異動ニ關シ變更登記ヲ爲シタルトキハ見出帳中其異動ニ關シ土地異動通知書ノ冊數、丁數欄ニ爲シタル記入ヲ朱抹スヘシ

第六十二條 不動産カ數箇ノ登記所ノ管轄地ニ跨カル場合ニ於テ裁判所ノ指定ニ因リ登記ヲ爲シタルトキハ登記所ハ速ニ其旨ヲ他ノ登記所ニ通知スヘシ
前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ見出帳中備考欄ニ其通知事項ヲ記入スヘシ

第六十三條 地役權ノ變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其要役地カ他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ遲滯ナク其登記所ニ變更又ハ消滅ノ事由及ヒ申請書受附ノ年月日ヲ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ遲滯ナク要役地タル不動産ノ登記用紙中相當區事項欄ニ通知ヲ受ケタル事項ヲ記載スヘシ

第六十四條 登記用紙ヲ閉鎖スルニハ表示欄ニ閉鎖ノ事由及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印シ不動産ノ表示、表示番號及ヒ登記番號ヲ朱抹スヘシ

第六十五條 不動産登記法第四十七條第二項ノ規定ニ依リ受領證ヲ交付スル場合ニ於テ登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ申請書ニ掲ケタル筆頭ノ者ノミノ氏名及ヒ他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

第六十六條 不動産登記法第四十七條第二項ノ受領證ハ登記濟證ヲ還納ヲ受ケタル受領證ハ之ヲ保存スヘシ

第六十七條 不動産登記法第十二條第二項ノ調書ニハ左ノ事項ヲ記

載スヘシ

- 一 申請人ノ氏名、住所
- 二 申請人カ登記官吏ナルコト又ハ登記官吏ノ妻若クハ登記官吏ノ四親等内ノ親族ナルコト
- 三 登記ヲ爲スヘキ不動産ノ表示及ヒ登記ノ目的
- 四 申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號
- 五 立會人ノ氏名、住所及ヒ年齢
- 六 立會人カ其登記所ニ於テ登記ヲ受ケタル不動産ノ表示及ヒ年月日又ハ登記番號

第六十八條 不動産登記法第十一條第一項ノ通知ニハ土地所在ノ郡、市、區、町村、字、土地ノ番號、地目、段別若クハ坪數、申請書受附ノ年月日、登記ノ目的及ヒ申請人ノ氏名、住所ヲ記載スヘシ

前項ノ通知ハ登記ヲ完了シタル日ヨリ十日内ニ之ヲ爲スヘシ但地租毎納期終盡ノ前十日内ハ其都度通知ヲ爲スヘシ

第六十九條 登記官吏カ不動産登記法第二百二十九條、第三百一十一條

不動産登記法施行細則

又ハ第三百三十三條ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタルトキハ不動産ノ表示、登記原因、其日附、登記權利者ノ氏名、住所、登記ノ目的及ヒ登記濟ノ旨ヲ不動産ノ所有者ニ通知スヘシ但第三百三十一條又ハ第三百三十三條ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタル場合ニ於テハ所有權以外ノ權利者ニモ其通知ヲ爲スヘシ

第七十條 不動産登記法第六十二條、第六十三條、第七十五條第一項及ヒ前條ノ通知ハ郵便其他便宜ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第七十一條 不動産登記法第九條第一項ノ場合ニ於テハ登記簿ノ表紙ニ管轄ノ變更アリタルコト及ヒ其年月日ヲ記載シ其表紙ニ記載シタル登記所ノ名稱ヲ變更スヘシ
同法第五十九條ノ場合ニ於テハ登記簿ノ表紙ニ行政區畫又ハ其名稱ノ變更アリタルコト及ヒ其年月日ヲ記載シ其表紙ニ記載シタル行政區畫又ハ其名稱ヲ變更スヘシ

附 則

第七十二條 不動産登記法第六十三條ノ規定ニ依リ舊登記簿ヨリ登記ヲ移シタルトキハ表示欄及ヒ事項欄ニ移シタル登記ノ末尾ニ舊登記簿第何冊第何丁ヨリ移シタル旨及ヒ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ舊登記簿表題部取消欄ニ新登記簿第何冊第何丁ニ移シタル旨、新登記番號及ヒ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

第七十三條 不動産登記法第六十三條ノ登記ヲ爲ササル不動産ニ付キ其滅失ノ登記ノ申請アリタルトキハ舊登記簿ニ其登記ヲ爲スヘシ

第七十四條 受附番號ハ明治三十二年分ニ限リ六月十六日ヨリ之ヲ更新シ十二月三十一日ニ止ムヘシ

第七十五條 舊登記簿ノ謄本ハ舊謄本用紙ヲ以テ之ヲ作成スヘシ

第七十六條 明治二十六年三月司法省令第三號ニ依リ既ニ印鑑ヲ提出シタル者ハ更ニ之ヲ提出スルコトヲ要セス

附錄第一號

土地登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ 枚

地方裁判所長

丁		丙區 (權地)		乙區 (權所有) (權小七權地 作水及上)	
番順位	事項欄	番順位	事項欄	番順位	事項欄
番順位	事項欄	番順位	事項欄	番順位	事項欄
番順位	事項欄	番順位	事項欄	番順位	事項欄
番順位	事項欄	番順位	事項欄	番順位	事項欄

不動産登記法施行細則

... 號 番順位

戊區 (權借)		丁區 (權及要特他 借七權權)		區	
番順位	事項欄	番順位	事項欄	番順位	事項欄
番順位	事項欄	番順位	事項欄	番順位	事項欄
番順位	事項欄	番順位	事項欄	番順位	事項欄
番順位	事項欄	番順位	事項欄	番順位	事項欄

三七七

甲		表題部 (元表地土)	
番順位	事項欄	番順位	表示欄
番順位	事項欄	番順位	表示欄
番順位	事項欄	番順位	表示欄
番順位	事項欄	番順位	表示欄

三七六

附錄第二號

建物登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ 枚

地方裁判所長

建物登記簿	區 乙 (權所有) 區	事項欄	番號位
	區 丙	事項欄	番號位
	區 乙 (權所有) 區	事項欄	番號位
	區 丙	事項欄	番號位
	區 乙 (權所有) 區	事項欄	番號位

不動産登記法施行細則

第 號

建物登記簿	表 示 欄	番號位	甲	部 題 表 (示表物建)
	表 示 欄	番號位	甲	部 題 表 (示表物建)
	表 示 欄	番號位	甲	部 題 表 (示表物建)
	表 示 欄	番號位	甲	部 題 表 (示表物建)
	表 示 欄	番號位	甲	部 題 表 (示表物建)

建物登記簿	區	事項欄	番號位	丁 (權借賃) 區	特許及買取等七種權) 區
	區	事項欄	番號位	丁 (權借賃) 區	特許及買取等七種權) 區
	區	事項欄	番號位	丁 (權借賃) 區	特許及買取等七種權) 區
	區	事項欄	番號位	丁 (權借賃) 區	特許及買取等七種權) 區
	區	事項欄	番號位	丁 (權借賃) 區	特許及買取等七種權) 區

三七九

附錄第三號

土地共同人名簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ 枚

地方裁判所長

附錄第四號

建物共同人名簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ 枚

地方裁判所長

不動産登記法施行細則

番號

申請人ノ氏名、住所持分

豫

備

土地共同人名簿

番號

申請人ノ氏名、住所持分

豫

備

番號

申請人ノ氏名、住所持分

豫

備

建物共同人名簿

番號

申請人ノ氏名、住所持分

豫

備

番號	申請人ノ氏名、住所持分	豫	備

三八〇

三八二

部										登記ノ 番號ノ 丁數	登記ノ 番號	備考

附錄第八號
不動産登記受附帳
區裁知所

受附ノ 年月日	受附番號	目的ノ 登記ノ 氏名	申請人ノ 氏名	備考

受附ノ 年月日	受附番號	目的ノ 登記ノ 氏名	申請人ノ 氏名	備考

附錄第九號
(用厚紙五寸横一寸)

郡市町村番地 氏名
何年何月生
印鑑
(注意) 法人ノ代表者ナルトキハ氏名ノ肩ニ事務所又ハ營業
所ノ所在地、法人ノ名稱並ニ代表者ノ資格ヲ記載スヘシ

司法省令第十二號 (明治三十二年 五月十二日)

公證ヲ經タル證書面ノ權利ニ關スル登記取扱手續

第一條 明治六年第十八號布告地所質入書入規則又ハ同八年第四百十八號布告建物書入質規則ニ從ヒテ公證ヲ經タル證書面ノ權利ニ關スル登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除ク外不動産登記法其他不動産ノ登記ニ關スル規程ニ依ル

不動産登記法施行細則
公證ヲ經タル證書面ノ權利ニ關スル登記取扱手續

第二條 前條ノ登記ヲ申請スル者ハ其申請書ニ公證ノ年月日、公證ノ番號及ヒ公證ノ順位ヲモ記載シ公證ヲ經タル證書ヲ添附スヘシ

第三條 登記スヘキ權利ノ目的タル不動産ノ所在ノ郡、市、區、町、村、字、土地ノ番號、地目、段別又ハ坪數カ公證ヲ經タル時ト異ナルトキハ申請書ニ不動産ノ新舊ノ表示ヲ爲シ且地目、段別又ハ坪數ニ付テハ其異ナル事由ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ

第四條 登記スヘキ權利ノ目的カ建物ナル場合ニ於テ其種類、構造、建坪又ハ番號カ公證ヲ經タル時ト異ナルトキハ申請書ニ建物ノ新舊ノ表示ヲ爲シ且其異ナル事由ヲ説明スヘシ

第五條 申請人カ公證ヲ經タル證書面ノ債權者ト異ナルトキハ申請書ニ其異ナル事由ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ

第六條 多數債權者中ノ一人又ハ數人カ已ムコトヲ得サル事由ニ因リ共ニ登記ヲ申請スルコト能ハサルトキハ其事由ヲ説明シテ他ノ債權者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

第七條 公證ヲ經タル證書ヲ提出スルコト能ハサルトキハ申請書ニ登記スヘキ權利ノ目的タル不動産ノ所有者ノ承諾書ヲ添附シ又ハ所有者ヲシテ申請書ニ署名捺印セシムヘシ但其所有者カ公證ヲ經タル時ト異ナルトキハ其異ナル事由ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ

前條ノ場合ニ於テハ申請書ノ副本ヲ提出スヘシ

第八條 登記官吏ハ左ノ場合ニ於テモ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ申請ヲ却下スヘシ但申請ノ欠缺カ補正スルコトヲ得ヘキモノナル場合ニ於テ申請人カ即日ニ之ヲ補正シタルトキハ此限ニ在ラス

一 本令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外申請書ニ掲ケタル不動産ノ表示又ハ債權者若クハ不動産ノ所有者ノ表示カ公證簿ト符合セサルトキ

二 申請書ニ掲ケタル債權者ノ權利ニ關スル事項カ公證簿ト符合セサルトキ

三 申請カ不動産登記法施行後一年內ニ爲シタルモノニ非サルトキ

第九條 登記ヲ爲ストキハ土地ニ付テハ丁區事項欄ニ建物ニ付テハ丙區事項欄ニ公證ノ年月日、公證ノ番號及ヒ公證ノ順位ヲモ記載スヘシ

第十條 不動産登記法施行前ニ登記シタル不動産ニ付キ公證ヲ經タル質入又ハ書入ノ登記ノ申請アリタルトキハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ニ從ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ前登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ移シ相當區順位番號欄及ヒ事項欄ニ舊登記簿ノ用紙中抹消ニ係ラサル番號及ヒ事項ヲ移シ表示欄及ヒ事項欄ニ移シタル登記ノ末尾ニ公證ヲ經タル質入又ハ書入ノ登記ノ申請ニ因リ舊登記簿第何冊第何丁ヨリ移シタル旨及ヒ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印シ公證ヲ經タル事項ノ登記ヲ爲スヘシ

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ舊登記簿表題部取消欄ニ新登記簿第何冊第何丁ニ移シタル旨、新登記番號及ヒ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

第十一條 未登記ノ不動産ニ付キ公證ヲ經タル質入又ハ書入ノ登記ノ申請アリタルトキハ甲區事項欄ニ所有者ノ氏名、住所及ヒ公證ヲ經タル質入又ハ書入ノ登記ノ申請ニ因リ所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スヘシ

第十二條 登記簿ニ登記ヲ爲シタルトキハ公證簿中登記シタル權利ノ公證ヲ朱抹シ其事由及ヒ年月日ヲ記載シテ登記官吏捺印スヘシ

第十三條 登記官吏カ登記ヲ完了セタルトキハ公證ヲ經タル證書又ハ申請書ノ副本ニ登記番號、申請書受附ノ年月日、受附番號、順位番號及ヒ登記簿ノ旨ヲ記載シ登記所ノ印ヲ押捺シテ之ヲ債權者ニ還付スヘシ但申請書ノ副本ニ登記簿ノ旨ヲ記載スル場合ニ於テハ公證ノ年月日、公證ノ番號及ヒ公證ノ順位ヲモ記載スヘシ

第十四條 登記官吏カ前條ノ手續ヲ爲シタルトキハ郵便其他便宜ノ方法ヲ以テ遲滯ナク其不動産ノ表示、登記原因、其日附、債權者ノ氏名、住所、登記ノ目的、公證ヲ經タル權利ナルコト及ヒ登記簿ノ旨ヲ不動産ノ所有者ニ通知スヘシ但其不動産カ共有ナル場合ニ於テハ共有者ノ一人ニ通知スルヲ以テ足ル

前項ノ通知事項ハ不動産登記法施行細則第十四條第五號ノ通知簿

公證ヲ經タル證書面ノ權利ニ關スル登記取扱手續
土地登記簿、建物登記簿及ヒ商業登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ請求等ニ關スル手数料
二八九

ニ之ヲ記入シ通知書ト契印スヘシ
第十五條 不動産登記法第六十二條第一項ニ定メタル期間内ニ公證取消ノ申請アリタルトキハ公證簿ノ公證ヲ朱抹シ其事由及ヒ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

司法省第十四號 (明治三十二年五月十三日)

土地登記簿、建物登記簿及ヒ商業登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ請求等ニ關スル手数料ノ件

第一條 不動産登記法第二十一條又ハ非訟事件手續法第四百十二條ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ其用紙一枚ニ付キ手数料金十錢ヲ納ムヘシ但一枚ニ滿タサルモノト雖モ仍ホ之ヲ一枚ニ計算ス
第二條 不動産登記法第二十一條ノ規定ニ依リ登記簿又ハ其附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル者ハ手数料金十錢ヲ納ムヘシ

第三條 非訟事件手續法第四百十三條ノ規定ニ依リ登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スル者ハ每一件手数料金十錢ヲ納ムヘシ

第四條 明治三十二年司法省令第十三號第二十七條ノ規定ニ依リ商業登記ニ付キ登記濟證ノ交付ヲ請求スル者ハ手数料金五錢ヲ納ムヘシ
第五條 手数料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ
第六條 第一條乃至第三條ノ規定ハ官吏又ハ公吏カ政府ノ利益ノ爲メ其職務ヲ以テ請求ヲ爲ス場合ニハ之ヲ適用セス

司法省令第十五號 (明治三十二年五月三十一日)

法人及ヒ夫婦財産契約登記取扱手續

第一條 法人登記簿ハ附錄第一號雛形ニ依リ夫婦財産契約登記簿ハ附錄第二號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

土地登記簿建物登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ請求等ニ關スル手数料ノ件三九一
法人及ヒ夫婦財産契約登記取扱手續

第二條 法人登記見出帳ハ附録第三號雛形ニ依リ夫婦財産契約登記見出帳ハ附録第四號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第三條 登記所ニハ登記簿、見出帳及ヒ受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フ

一 謄本抄本證明書交付帳

二 法人登記申請書附屬書類綴込帳

三 夫婦財産契約登記申請書附屬書類綴込帳

四 受領證原符元帳

五 決定原本綴込帳

六 登記簿謄本綴込帳

七 登記濟證交付帳

八 抗告書類綴込帳

九 印鑑簿

第四條 外國法人ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テ登記スヘキ事項ノ名稱カ或欄ノ表示ニ適合セサルトキハ最モ之ニ類似セル欄ニ記載シタル上其名稱ヲ附記スヘシ

第五條 外國法人ノ事務所ノ廢止ノ登記ハ登記用紙中變更欄ニ之ヲ

爲シ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第六條 民法施行法第二十條第一項ノ規定ニ依リテ申請シタル法人ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中第四欄ニ主務官廳ノ認可アリタルコト及ヒ其年月日ヲ記載スヘシ

第七條 夫婦財産契約カ夫婦ノ一方ノ死亡ニ因リテ終了シタルトキハ他ノ一方ノ者ノミニテ登記ノ申請ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ申請書ニ其事由ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ

第八條 夫婦財産契約ニ關シ登記シタル事項ノ變更ノ登記又ハ夫婦財産契約ノ登記ノ更正ハ登記用紙中管理者ノ變更及ヒ共有財産ノ分割欄ニ之ヲ爲スヘシ

第九條 商業登記取扱手續第二十三條及ヒ第二十六條ノ規定ハ法人ノ登記ニ之ヲ準用ス

第十條 不動産登記法施行細則第四條、第五條、第十二條、第十三條、第二十條乃至第二十四條、第二十七條、第三十三條乃至第三十九條、第四十七條、第五十一條及ヒ商業登記取扱手續第五條乃

法人及ヒ夫婦財産契約登記取扱手續

至第七條、第九條乃至第二十條、第二十四條、第二十五條、第三十七條乃至第三十二條、第四十六條ノ規定ハ法人及ヒ夫婦財產契約ノ登記ニ之ヲ準用ス
 第十一條 營利ヲ目的トスル法人ノ登記ニハ商事會社ノ登記ニ關スル規定ヲ準用ス

附則

第十二條 本令ハ明治三十二年六月十六日ヨリ之ヲ施行ス
 第十三條 明治三十一年七月司法省令第六號法人及ヒ夫婦財產契約登記取扱規則ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

附錄第一號	法人登記簿	區裁判所
紙數表紙ヲ除キ 枚	地方裁判所長	

更	變	登記番號													
		七	六	五	四	三	二	一	印	登	月	登			
		出資ノ方	額	存立時期	ノ設立許可	ノ日	目	事務所	一名	稱	登記官	吏	年	日	年
											第一號	月	日	年	

Vertical text on the left edge of the top section.

Vertical text on the left edge of the bottom section.

附錄第一號

夫婦財產契約登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ 枚

地方裁判所長

附錄第三號

法人登記見出帳

區裁判所

部

法人ノ 名稱	法人ノ 種類	登記簿ノ 冊數	丁數	番 登 記 號	備考

法人ノ名稱及種類ノ登記簿ノ冊數丁數番登記號

丁

登記番號

管理ノ者及變更ノ 共有財產ノ割分	夫婦財產契約	契約者ノ姓名及住所
管理ノ者及變更ノ 共有財產ノ割分	夫婦財產契約	
減消		

丁

部

法人ノ 名稱	法人ノ 種類	登記簿ノ 冊數	丁數	番 登 記 號	備考

附錄第四號

夫婦財產契約登記見出帳

區裁判所

三九七

部			部				
夫ノ氏名	登記簿ノ 册數、丁數	登記番號	備考	夫ノ氏名	登記簿ノ 册數、丁數	登記番號	備考

法律第五十三號 (明治三十二年三月十日)

銀行ニ關スル法律ニ定メタル過料ニ關スル法律

銀行ニ關スル法律ニ於テ定メタル過料ニ付テハ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

法律第五十四號 (明治三十二年三月十日)

印紙稅法

第一條 財產權ノ創設、移轉、變更若ハ消滅ヲ證明スヘキ證書、帳簿及財產權ニ關スル追認若ハ承認ヲ證明スヘキ證書ヲ作成スル者ハ此ノ法律ニ依リ印紙稅ヲ納ムヘシ

第二條 證書ニ關シテハ一通毎ニ其ノ記載金高五圓以上ノモノニ限

銀行ニ關スル法律ニ定メタル過料ニ關スル法律 印紙稅法 三九九

リ記載金高一萬分ノ五ノ割合ヲ以テ印紙稅ヲ納ムヘシ但シ印紙稅額五十圓トナルトキハ五十圓ニ止メ一錢未滿トナリ又ハ一錢未滿ノ端數ヲ生スルトキハ一錢ニ切上クルモノトス
金高記載ナキモ證書面ニ標記シアル價額ノ單位又ハ其ノ他ノ記載事項ニ依リ其ノ金高ヲ算出スルコトヲ得ルモノハ其ノ總金額ヲ以テ記載金高ト看做ス

第三條 爲替手形、約束手形ハ一通毎ニ其ノ記載金高五圓以上ノモノニ限リ左ノ割合ヲ以テ印紙稅ヲ納ムヘシ

金高二千圓未滿 印紙稅二錢
金高二千圓以上 印紙稅十錢

第四條 左ニ掲クル證書、帳簿ニ關シテハ證書ハ一通毎ニ帳簿ハ一冊一年以内ノ附込ニ對シ下ニ定ムル所ノ印紙稅ヲ納ムヘシ

一 委任狀 印紙稅一錢
一 銀行預金證書 印紙稅二錢
一 船荷證券 印紙稅二錢
一 運送貨物引換證 印紙稅二錢

一 倉荷預證券 印紙稅二錢
一 倉荷質入證券 印紙稅二錢
一 保險證券 印紙稅二錢
一 株券 印紙稅二錢
一 債券 印紙稅二錢
一 株式申込證 印紙稅二錢
一 地上權、永小作權、地役權ニ關スル證書 印紙稅二錢
一 使用貸借、賃貸借、雇傭、寄託、定期金ニ關スル契約證書 印紙稅二錢
一 定款及組合契約書 印紙稅二錢
一 權利ノ變更ニ關スル證書 印紙稅二錢
一 追認、承認ニ關スル證書 印紙稅二錢
一 物品切手 印紙稅二錢
一 賣買仕切書 印紙稅二錢
一 送狀 印紙稅二錢
一 受取書 印紙稅二錢

- 一 金高記載ナキ證書 印紙税二錢
- 一 擔保品差入證書、擔保品預證書 印紙税二錢
- 一通帳 印紙税二錢
- 一 判取帳 印紙税二十錢

第五條 左ニ掲クル證書、帳簿ニ關シテハ印紙税ヲ納ムルコトヲ要セス

- 一 官廳又ハ公署ヨリ發スル證書、帳簿
- 一 官廳又ハ公署ニ職ヲ奉スル者ノ職務上發スル證書、帳簿
- 一 國庫金ノ取扱ニ關シ發スル證書
- 一 慈善又ハ公共事業ノ爲ニスル金員物件ノ寄附ニ關シ人民ヨリ官廳若ハ公署ニ提出スル證書
- 一 俸給、給料、歳費、手當金、賞與金、年金、恩給金、扶助料、旅費及救恤金ノ受取書
- 一 小切手
- 一 金高五圓未満ノ爲替手形、約束手形
- 一 營業ニ關セサル受取書

- 一 金高五圓未満若ハ金高記載ナキ送狀、受取書又ハ賣買仕切書
- 一 主タル債務ノ證書ニ併記シタル擔保契約
- 一 證券ノ裏書及手形ノ裏面ニ記載シタル受取書
- 一 株券、債券ノ讓渡ヲ證明スヘキ裏面記載
- 一 手形ノ引受、保證
- 一 手形及證券ノ拒絕證書
- 一 手形及證券ノ複本、謄本

第六條 印紙税ハ證書、帳簿ニ印紙ヲ貼用シテ納ムルモノトス但シ爲替手形、約束手形、船荷證券、運送貨物引換證、倉荷預證券、倉荷質入證券、保險證券、株券、債券ハ印紙税額ニ相當スル現金ヲ政府ニ納付シテ税印ノ押捺ヲ受ケ印紙貼用ニ代フルコトヲ得

第七條 一冊ノ帳簿ヲ一年以上使用スルトキハ別帳簿ヲ調製シタルモノト看做ス

第八條 證書ニ外國貨幣ヲ以テ員數ヲ記載スルトキハ内國貨幣ニ換算シタル金高ニ相當スル印紙ヲ貼用スヘシ

第九條 印紙ヲ貼用スルトキハ證書又ハ帳簿ノ紙面ト印紙ノ彩紋ト

ニカケテ證書又ハ帳簿作成者ノ印章又ハ署名ヲ以テ判明ニ之ヲ消スヘシ

第十條 印紙ヲ貼用スヘキ帳簿、賣買仕切書、送狀ハ當該官吏之ヲ検査スルコトアルヘシ

第十一條 證書、帳簿ニ相當印紙ヲ貯用セス又ハ第六條但書ニ依リ稅印ノ押捺ヲ受ケサル者ハ脫稅高二十倍ノ科料又ハ罰金ニ處ス

第十二條 第十條ノ検査ヲ拒ミタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十三條 第九條ニ違背シタル者ハ一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第十四條 此ノ法律ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ不論罪、減輕、再犯加重、數罪俱發ノ例ヲ用井ス

附則

第十五條 此ノ法律ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

第十六條 明治十七年第十一號布告證券印稅規則ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ廢止ス

第十七條 明治十七年第十一號布告證券印稅規則ニ依ル手形用紙ニ

シテ此ノ法律施行ノ際自用者ノ所持ニ係ルモノハ此ノ法律施行後ニ於テモ仍之ヲ使用スルコトヲ得但シ手形用紙記載ノ稅金高以上ニ之ヲ使用セムトスルトキハ其ノ不足額ハ印紙ヲ貼用シテ之ヲ補足スヘシ

法律第五十八號 (明治三十二年三月十日)

取引所法中改正法律ノ件

取引所法中左ノ通改正ス

第十一條第一項中「株主」ヲ削ル

此ノ法律ハ明治三十二年七月十七日ヨリ施行ス

法律第五十八號參照

法律第五號取引所法(明治二十六年三月四日官報)抄錄

第十一條第一項

帝國臣民ニ非サレハ取引所ノ會員、株主又ハ仲買人トナルコトヲ得ス

印紙稅法 取引所法中改正法律ノ件

法律第二十七號 (明治二十九年三月二十八日)

登録税法

明治三十三年三月十日
法律第三十八號
以テ改正

- 第一條 登録税ハ本法ノ定ムル所ニ依リ賦課徴收ス
- 第二條 不動産ニ關スル登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録税ヲ納ムヘシ
 - 一 法定ノ家督相續ニ因ル所有權ノ取得 不動産價格 千分ノ七
 - 二 第一號以外ノ家督相續又ハ遺產相續ニ因ル所有權ノ取得 不動産價格 千分ノ十五
 - 三 遺言、贈與其ノ他無償名義ニ因ル所有權ノ取得 不動産價格 千分ノ四十
 - 四 第一號乃至第三號以外ノ原因ニ因ル所有權ノ取得 不動産價格 千分ノ二十五
 - 五 從來保有セル所有權ノ保存

- 六 共有物ノ分割 不動産價格 千分ノ二
- 七 永代ノ地上權ノ取得 分割ニ因リテ受ケル不動産ノ價格 千分ノ五
- 八 地上權、永小作權ノ取得 不動産價格 千分ノ二十五

- 存續期間十年未滿 不動産價格 千分ノ二
- 存續期間二十年未滿 不動産價格 千分ノ三
- 存續期間三十年未滿 不動産價格 千分ノ四
- 存續期間三十年以上 不動産價格 千分ノ五
- 存續期間ノ定メナキモノ 不動産價格 千分ノ五
- 但シ權利移轉ニ因ル場合ニ於テハ既ニ經過シタル期間ヲ存續期間ヨリ控除シ其ノ殘期ヲ以テ存續期間ト看做シ登録税ヲ計算ス

- 九 賃借權ノ取得
 - 存續期間十年未滿 不動産價格 千分ノ一
 - 存續期間十年以上 不動産價格 千分ノ二
 - 存續期間ノ定メナキモノ 不動産價格 千分ノ一

登録税法

但シ權利移轉ニ因ル場合ニ於テハ既ニ經過シタル期間ヲ存續期間ヨリ控除シ其ノ殘期ヲ以テ存續期間ト看做シ登録稅ヲ計算ス

十 地役權ノ取得 要役地價格 千分ノ一

十一 華族世襲財產ノ創設 不動産價格 千分ノ二十

十二 先取特權ノ保存又ハ取得 債權金額又ハ不動産
工事費用豫算金額 千分ノ六

但シ債權金額ナキトキ又ハ先取特權ノ目的タルモノノ價格カ

債權金額ヨリ寡キトキハ先取特權ノ目的タルモノノ價格ヲ以

テ債權金額ト看做ス

十三 質權、抵當權ノ取得 債權金額 千分ノ六

但シ債權金額ナキトキ又ハ質權抵當權ノ目的タルモノノ價格

カ債權金額ヨリ寡キトキハ質權抵當權ノ目的タルモノノ價格

ヲ以テ債權金額ト看做ス

十四 競賣、強制管理ノ申立 債權金額 千分ノ六

但シ競賣若ハ強制管理ニ付スヘキモノノ價格カ債權金額ヨリ

寡キトキハ其ノモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス

十五 假差押、假處分 債權金額 千分ノ四

但シ假差押假處分ニ付スヘキモノノ價格カ債權金額ヨリ寡キ

トキハ其ノモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス

十六 抵當アル債權ノ差押 債權金額 千分ノ六

但シ差押ニ付スヘキモノノ價格カ債權金額ヨリ寡キトキハ其

ノモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス

十七 相續財產ノ分離 不動産價格 千分ノ六

所有權ニ付テハ 不動産價格 千分ノ一

所有權以外ノ權利ニ付テハ 不動産價格 千分ノ一

十八 請求又ハ申立ニ因リ抹消セラレタル登記ノ回復 不動産價格 金二十錢

十九 假登記 不動産每一箇 金二十錢

二十 豫告登記 不動産每一箇 金二十錢

二十一 附記登記 不動産每一箇 金二十號

登録稅法 四〇九

二十二 登記ノ更正、變更又ハ抹消

不動産每一箇 金十錢

第一號乃至第四號ノ場合ニ於テ共有物持分ノ取得ニ係ルモノハ其ノ持分ノ價格ニ依ル

第三條 船舶ニ關スル登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ

一 法定ノ家督相續ニ因ル所有權ノ取得

船舶價格 千分ノ三

二 第一號以外ノ家督相續又ハ遺産相續ニ因ル所有權ノ取得

船舶價格 千分ノ六

三 遺言、贈與其ノ他無償名義ニ因ル所有權ノ取得

船舶價格 千分ノ二十

四 第一號乃至第三號以外ノ原因ニ因ル所有權ノ取得

船舶價格 千分ノ十五

五 從來保有セル所有權ノ保存

船舶價格 千分ノ一

六 賃借權ノ取得

存續期間十年未満 船舶價格 千分ノ一
存續期間十年以上 船舶價格 千分ノ二

但シ權利移轉ニ因ル場合ニ於テハ既ニ經過シタル期間ヲ存續期間ヨリ控除シ其ノ殘期ヲ以テ存續期間ト看做シ登録稅ヲ計算ス

七 質權、抵當權ノ取得 債權金額 千分ノ六

但シ債權金額ナキトキ又ハ質權抵當權ノ目的タルモノノ價格カ債權金額ヨリ寡キトキハ質權抵當權ノ目的タルモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス

八 競賣ノ申立 債權金額 千分ノ六

但シ競賣ニ付スヘキモノノ價格カ債權金額ヨリ寡キトキハ其ノモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス

九 假差押、假處分 債權金額 千分ノ四
但シ假差押假處分ニ付スヘキモノノ價格カ債權金額ヨリ寡キ

登録稅法

明治三十一年三月十日
法律第八號
改正

第四條

トキハ其ノモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス
十 抵當アル債權ノ差押 債權金額 千分ノ六
但シ差押ニ付スヘキモノノ價格カ債權金額ヨリ寡キトキハ其
ノモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス
十一 登記ノ更正、變更又ハ抹消 船舶每一箇 金十錢
第一號乃至第四號ノ場合ニ於テ共有物持分ノ取得ニ係ルモノハ
其ノ持分ノ價格ニ依ル

- 一 新規登録 每十噸 金五十錢
 - 二 轉籍 每十噸 金十錢
 - 三 除籍 每十噸 金五錢
 - 四 登録ノ變更 船舶每一箇 金十錢
- 船舶ノ噸數ハ總噸數ニ依ル但シ十噸未滿ノ端數ハ十噸トシテ計
算ス

明治三十一年三月十日
法律第八號
改正

石數ヲ以テ積量ヲ表示スル船舶ニ在テハ積石數百石ヲ十噸トシ
テ計算ス

第五條

土地臺帳ニ左ノ事項ヲ登録スルトキハ土地所有者ハ左ノ區
別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ

- 一 新規登録 地價 千分ノ二十
- 二 地價ノ設定 地價 千分ノ十
- 三 地價ノ修正 地價 千分ノ十
- 四 開墾 地價 千分ノ十
- 五 鐵下年期付與 地價 千分ノ十
- 六 地價据置年期付與 地價 千分ノ十
- 七 鐵下年期ノ繼年期付與 地價 千分ノ十
- 八 新開免租年期ノ繼年期付與 地價 千分ノ十
- 九 低價年期ノ付與 地價 千分ノ一
- 十 地租條例第二十二條ノ地價ノ修正 地價 千分ノ一

明治三十
二年三月
二十三日
法律第八
十三號ヲ
以テ改正

十一 地價ノ復舊

地價

四二四

千分ノ一

本條中地價未設定ノ土地ハ近傍類地地價ノ比準ニ依ル

第六條

商事會社其ノ他營利ヲ目的トスル法人ニシテ登記ヲ受クル
トキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ但シ第一號第三號第六號

第九號ノ場合ニ於テ稅金額十圓未滿ナルトキハ十圓トス

一 合名會社、合資會社設立

財產ヲ目的トス
ル出資ノ價格

千分ノ三

二 合名會社、合資會社出資増加

財產ノ目的トス
ル出資ノ價格

千分ノ三

三 株式會社設立

拂込株金額

千分ノ四

四 株式會社資本増加

増資拂込株金額

千分ノ四

五 株式會社第二回以後ノ株金拂込

毎回拂込株金額

千分ノ四

六 株式合資會社設立

拂込株金額及財產ヲ目的ト
スル株金以外ノ出資ノ價格

千分ノ四

七 株式合資會社資本増加

増資拂込株金額及財產ヲ目的
トスル株金以外ノ出資ノ價格

千分ノ四

八 株式合資會社第二回以後ノ株金拂込

毎回拂込株金額 千分ノ四

九 合併又ハ組織變更ニ因ル會社ノ設立

拂込株金額及財產ヲ目的ト
スル株金以外ノ出資ノ價格

千分ノ二

十 合併ニ因ル會社資本ノ増加

増資拂込株金額及財產ヲ目的
トスル株金以外ノ出資ノ價格

千分ノ一

十一 債券發行

債權總金額

千分ノ一

十二 支店設置

每一箇所

金十圓

十三 本店又ハ支店ノ移轉

每一件

金五圓

十四 支配人ノ選任又ハ代理權ノ消滅

每一件

金五圓

十五 登記事項ノ變更、消滅又ハ廢止

每一件

金五圓

但シ商法施行法ニ依リ新ニ登記スヘキ事項ノ登記ハ登記事項

ノ變更ト看做ス

十六 登記ノ更正又ハ抹消

每一件

金五圓

十七 解散

每一件

金三圓

登録稅法

四二五

- 十八 清算人ノ選任、解任又ハ變更 每一件 金一圓
- 十九 清算ノ結了 每一件 金一圓
- 支店所在地ニ於テ前項各號ノ登記ヲ受クルトキハ每一件金一圓ノ登録稅ヲ納ムヘシ
- 財團法人又ハ營利ヲ目的トセサル社團法人ニシテ登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ
- 一 法人ノ設立（民法施行法ニ依リ法人ト認メラレタルモノノ新ニ受クル登記トモ） 每一件 金五圓
- 二 法人設立後ノ事務所設置 每一件 金三圓
- 三 事務所ノ移轉 每一件 金二圓
- 四 登記事項ノ變更、消滅又ハ廢止 每一件 金一圓
- 五 登記ノ更正又ハ抹消 每一件 金一圓
- 六 解散 每一件 金五十錢
- 七 清算人ノ選任、解任又ハ變更

明治三十一年三月十日
法律第八十三號
以下改正

- 八 清算ノ結了 每一件 金五十錢
- 主タル事務所ニアラサル事務所所在地ニ於テ前項各號ノ登記ヲ受クルトキハ每一件金五十錢ノ登録稅ヲ納ムヘシ
- 第六條ノ二 左ノ事項ニ付登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ム
- 一 商號ノ新設又ハ取得 每一件 金五圓
- 二 支配人ノ選任又ハ代理權ノ消滅 每一件 金五圓
- 三 船舶管理人ノ選任又ハ代理權ノ消滅 每一件 金五圓
- 四 商法第五條第七條ニ依ル登記 每一件 金二圓
- 五 民法第七百九十四條第七百九十五條及第七百九十七條ニ依ル登記 每一件 金二圓
- 六 登記事項ノ變更、消滅又ハ廢止

登録稅法

七 登記ノ更止又ハ抹消 每一件 金一圓
支店所在地ニ於テ前項各號ノ登記ヲ受クルトキハ每一件金五十

錢ノ登録税ヲ納ムヘシ
第七條 左ノ事項ニ付キ辨護士名簿ニ登録ヲ請フ者ハ左ノ區別ニ從

ヒ登録税ヲ納ムヘシ

一 新規登録

金二十圓

二 登録換

金十圓

三 取消ノ請求

金一圓

第八條 左ノ事項ヲ官簿ニ登録スルトキハ醫師、藥劑師、獸醫、蹄
鐵工ハ左ノ區別ニ從ヒ登録税ヲ納ムヘシ

一 新規登録

金二十圓

醫師

金十二圓

藥劑師

金十二圓

獸醫

金五圓

蹄鐵工

明治三十三年三月十日
明治三十三年三月十日
明治三十三年三月十日
明治三十三年三月十日
明治三十三年三月十日
明治三十三年三月十日
明治三十三年三月十日
明治三十三年三月十日

假開業醫師

金五圓

假免許獸醫

金三圓

假免許蹄鐵工

金一圓

○ 二 登録事項ノ變更

每一件

金五十錢

第九條 左ノ事項ヲ官簿ニ登録スルトキハ海員ハ左ノ區別ニ從ヒ登

録税ヲ納ムヘシ

一 新規登録

金十五圓

甲種船長

金十圓

甲種一等運轉士

金六圓

乙種船長

金十圓

乙種一等運轉士

金四圓

乙種二等運轉士

金三圓

丙種船長

金六圓

丙種運轉士

金二圓

機關長

金十五圓

登録税法

四一九

治三十三
年三月十
日
法律第八
號
ヲ改テ正

- 一等機關士 金十圓
- 二等機關士 金六圓
- 三等機關士 金三圓
- 水先人 金二十圓
- 二 登録事項ノ變更 每一件 金五十圓

治三十三
年三月十
日
法律第八
號
ヲ改テ正

- 第十條 著作權ノ登録ヲ請フ者ハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ
 - 一 文藝、學術、美術ノ著作物 每一種一回 金十圓
 - 但シ演劇脚本及寫真ヲ除ク
 - 一 新聞紙及定期刊行物 每一號 金五十圓
 - 一 演劇脚本 每一種一回 金五十圓
 - 一 寫真 每一版 金五圓
 - 一 著作權ノ讓渡又ハ質入 每一件 金五圓
 - 一 無名又ハ變名著作物ノ著作權ノ實名登録 每一件 金五圓
- 第十一條 特許ニ關シ登録ヲ受クル者ハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ
 - 一 讓渡又ハ共有 每一件金十圓
 - 二 質入 每一件金五圓

治三十三
年三月十
日
法律第八
號
ヲ改テ正

- 第十二條 意匠ニ關シ登録ヲ受クル者ハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ
 - 一 讓渡又ハ共有 物品一類毎ニ金二圓
 - 二 質入 物品一類毎ニ金一圓
- 第十三條 商標ニ關シ左ノ事項ノ登録ヲ受クル者ハ左ノ登録稅ヲ納ムヘシ
 - 一 讓渡又ハ共有 商品一類毎ニ金十圓

治三十三
年三月十
日
法律第八
號
ヲ改テ正

- 第十四條 鑛業ニ關シ左ノ事項ヲ官簿ニ登録スルトキハ記名者ハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ
 - 一 試掘 金七十五圓
 - 二 採掘 金百五十圓
 - 三 試掘増區及増減區ニ係ル訂正 金三十圓
 - 四 採掘増區及増減區ニ係ル訂正 金七十五圓
 - 五 買受、讓受 金七十五圓

登録稅法

- 四三二
- 六 探掘權書入又ハ試掘延期 金二十圓
 - 七 減區ニ係ル訂正 金五圓
 - 八 鑛區ノ合併又ハ分割 金十五圓
 - 九 廢業 金五圓
- 第十五條

明治三十一年三月十日
 法律第三十號
 第一號ヲ以テ刪除
 明治三十一年三月十日
 法律第三十號
 第二號ヲ以テ改正
 明治三十一年三月十日
 法律第三十號
 第三號ヲ以テ改正
 明治三十一年三月十日
 法律第三十號
 第八號ヲ以テ改正

- 第十六條 國債ノ登録ヲ請フ者ハ左ノ區別ニ從ヒ登録税ヲ納ムヘシ
- 一 新規登録 債權金額 千分ノ二
 - 二 登録變更 債權金額 千分ノ一
 - 三 登録除却 債權金額 千分ノ一
- 第十七條 登録税ハ印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ但シ勅令ノ定ムル所ニ依リ現金ヲ以テ之ヲ徵收スルコトヲ得
- 第十八條 登録税ハ總テ金一錢以上トス一錢未満ノ端數ハ一錢トシテ之ヲ計算ス
- 第十九條 左ニ掲クルモノニハ登録税ヲ課セス
- 一 政府自己ノ爲ニスル登記

十三號ヲ以テ改正

- 同上
- 二 公立ノ學校、病院及養育院ノ所用ニ係ル不動産ノ登記
 - 三 公園、社寺、堂宇ノ敷地及墳墓地ニ係ル登記
 - 四 明治六年第十八號布告地所質入書入規則及同八年第四百十八號布告建物書入質規則ニ從ヒテ公證ヲ經タル證書面ノ權利ニ付テ債權者ヨリ申請スル登記
- 第十九條ノ二 登記所ニ於テ登記申請者ノ申告シタル課税標準ノ價格ヲ不當ト認ムルトキハ二名ノ評價人ヲ選定シ之ヲ評價セシム評價一致セサルトキハ其ノ平均ヲ以テ之ヲ定ム
- 前項ノ評價申請價格ヨリ多キトキハ評價人ニ給スル旅費手當ハ登記申請者ノ負擔トス
- 官吏及當該事件ニ利害ノ關係ヲ有スル者ハ評價人トナルコトヲ得ス

司法省令第十三號 (明治三十二年五月十三日)

商業登記取扱手續

商業登記取扱手續

第一條 商業登記簿ハ附録第一號乃至第九號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ但合資會社登記簿ヲ調製スルニハ附録第七號雛形ノ第一欄ヨリ變更欄ニ至ルマテノ用紙ト社員ノ氏名、住所等ヲ記載スヘキ用紙ト別チ初メニ第一欄ヨリ變更欄ニ至ルマテノ用紙ヲ纏メ其末尾ニ社員ノ氏名、住所等ヲ記載スヘキ用紙ヲ纏メテ之ヲ編綴スヘシ

外國會社登記簿ノ雛形ハ附録第六號乃至第九號ニ依ルヘシ
第二條 商號登記簿ハ市町村毎ニ別冊ト爲スヘシ但市制又ハ町村制ヲ施行セサル地方ニ在リテハ從來ノ町村其他之ニ類スル區域毎ニ別冊ト爲シ東京市、京都市及ヒ大阪市ニ在リテハ其各區毎ニ別冊ト爲スヘシ

第三條 商法施行法第十五條第一項ニ依ル商號ノ登記ノ爲メ東京市及ヒ大阪市ニ存スル登記所東京區裁判所及ヒ大阪區裁判所ノ本廳ヲ除クノ管轄毎ニ別ニ商號登記簿ヲ備フヘシ
第四條 商業登記簿ノ見出帳ハ附録第十號乃至第十九號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第五條 受附帳ハ附録第二十號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第六條 法律ニ依リ登記ノ申請書ニ捺印スヘキ者ハ豫メ其印鑑ヲ登記所ニ提出スヘシ改印ヲ爲シタルトキ亦同シ但登記ノ申請ニ付キ委任ニ因ル代理ヲ爲ス者ハ此限ニ在ラス

第七條 印鑑ハ附録第二十一號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ
第八條 登記所ニハ登記簿、見出帳及ヒ受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フ

- 一 謄本抄本證明書交付帳
- 二 商號登記申請書附屬書類綴込帳
- 三 未成年者登記申請書附屬書類綴込帳
- 四 妻登記申請書附屬書類綴込帳
- 五 後見人登記申請書附屬書類綴込帳
- 六 支配人登記申請書附屬書類綴込帳
- 七 合名會社登記申請書囑託書附屬書類綴込帳
- 八 合資會社登記申請書囑託書附屬書類綴込帳
- 九 株式會社登記申請書囑託書附屬書類綴込帳
- 十 株式合資會社登記申請書囑託書附屬書類綴込帳

- 十一 外國會社登記申請書囑託書附屬書類綴込帳
- 十二 受領證原符元帳
- 十三 決定原本綴込帳
- 十四 登記簿謄本綴込帳
- 十五 登記濟證交付帳
- 十六 抗告書類綴込帳
- 十七 印鑑簿

第九條 登記ノ爲メ當事者ノ提出シタル申請書其他ノ書面ニシテ登記所ニ保存スヘキモノハ之ニ登記簿ノ冊數及ヒ其丁數ヲ記載シ登記簿ノ區別ニ從ヒ提出年月日ノ順序ヲ追ヒテ編綴スヘシ

第十條 登記簿若クハ附屬書類ノ閱覽又ハ登記簿ノ謄本若クハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ申請書ヲ提出スヘシ

第十一條 登記簿又ハ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ但附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ利害ノ關係ヲ説明スルニ足ルヘキ事由ヲ記載シ又ハ之ニ其關係ヲ説明スルニ足ルヘキ書面ヲ添附ス

ヘシ

- 一 登記簿ノ種類
- 二 閱覽セント欲スル登記事項
- 三 登記所ノ表示
- 四 年月日

第十二條 登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ

- 一 登記簿ノ種類
- 二 謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル登記事項
- 三 手数料ノ金額
- 四 登記所ノ表示
- 五 年月日

登記簿ノ抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ前項ニ掲ケタル事項ノ外抄本ノ交付ヲ請求スル部分ヲモ記載スヘシ

第十三條 登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スル者ハ申請書ニ通ヲ提出スヘシ

前項ノ申請書ニハ證明ヲ請求スル事項及ヒ年月日ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ

登記官吏ハ申請書ノ一通ニ證明文ヲ附シ年月日ヲ記載シテ署名捺印シ且登記所ノ印ヲ押捺シテ之ヲ申請人ニ交付スヘシ

第十四條 登記ノ申請ハ申請人又ハ其代理人登記所ニ出頭シテ之ヲ爲スヘシ

第十五條 登記官吏カ申請書ヲ受取リタルトキハ受附帳ニ登記ノ目的、申請人ノ姓名、會社カ申請人ナルトキハ其商號受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ申請書ニ受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載スヘシ

第十六條 申請書其他ノ書面ノ受領證ニハ受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載スヘシ

第十七條 登記官吏ハ受附番號ノ順序ニ從ヒテ登記ヲ爲スヘシ

第十八條 登記ヲ爲スニハ登記用紙中相當欄ニ登記事項及ヒ登記ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

登記用紙中或欄ニ登記事項ヲ記載スルコトナクシテ登記ヲ完了シタルトキハ其空欄ニ朱線ヲ交叉スヘシ但後日登記スルコトアルヘ

キ事項ノ爲メ設ケタル欄ニ付テハ此限ニ在ラス

登記用紙中或欄ニ登記事項ヲ記載シタル場合ニ於テ同欄内ニ餘白アルトキハ其餘白ニ朱線ヲ交叉スヘシ

變更欄ニ登記ヲ爲シタルトキハ其左側ニ縦線ヲ劃シテ餘白ト分界スヘシ

第十九條 變更ノ登記又ハ登記ノ更正ヲ爲シタルトキハ變更又ハ更正シタル登記事項ヲ朱抹スヘシ

第二十條 登記用紙ヲ閉鎖スルニハ登記番號ヲ朱抹スヘシ

第二十一條 商法第五十一條第二項、第五十二條第一項、第八十一條又ハ第一百八條第二項等ノ規定ニ依リ同法第五十一條第一項ニ定メタル登記ヲ爲シタルトキハ豫備欄ニ其事由ヲ記載スヘシ

非訟事件手續法第三百三十五條ノ二及ヒ第三百三十五條ノ三ニ定メタル營業ノ禁止又ハ外國會社ノ支店ノ閉鎖ノ登記ハ豫備欄ニ之ヲ爲スヘシ

同法第五百三十三條及ヒ第七十條第二項ノ規定ニ依リ商業登記ニ記載スヘキ事項ハ豫備欄ニ之ヲ記載スヘシ

第二十二條 社債又ハ資本若クハ株金ノ増加ノ登記ヲ爲シタル後同
一ノ事項ニ付キ更ニ登記ヲ爲スヘキトキハ變更欄ニ其登記ヲ爲ス
ヘシ

第二十三條 非訟事件手續法第百四十八條ノ規定ニ依リ登記ノ更正
ノ申請アリタルトキハ登記用紙中變更欄ニ其登記ヲ爲スヘシ

第二十四條 登記用紙中或欄カ登記ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタル
トキハ新用紙中登記番號ノ左側ニ其番號ノ第二ナルコト並ニ前用
紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ其繼續用紙ナルコトヲ記載
シ且前用紙中登記番號ノ左側ニ第一ノ文字並ニ新用紙ヲ編綴セル
登記簿ノ冊數、丁數及ヒ之ニ繼續スル旨ヲ記載スヘシ
前用紙中他ノ欄ニ餘白アルトキハ其欄ニ登記スヘキ事項ニ付テハ
仍ホ之ニ登記ヲ爲スヘシ

前二項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス
第二十五條 登記ヲ爲シ又ハ申請書其他登記ニ關スル書面ヲ作ルニ
ハ字畫ヲ明瞭ニスヘシ
金錢其他ノ物ノ數量、年月日及ヒ番號ヲ記載スルニハ壹貳參拾ノ

字ヲ用ユヘシ

文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス若シ訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタ
ルトキハ其字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ
捺印シ其削除ニ係ル文字ハ尙ホ讀得ヘキ爲メ字體ヲ存スヘシ

第二十六條 登記ノ公告ハ登記ヲ爲シタル登記所ノ名ヲ以テ之ヲ爲
スヘシ

第二十七條 登記ノ申請人ハ登記濟證ノ交付ヲ請求スルコトヲ得
登記官吏カ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ附錄第二十二號雛形ニ依
リ登記濟證ヲ交付スヘシ

第二十八條 商業登記簿ノ見出帳ニハイロハ順ニ依リ豫メイノ部ヨ
リスノ部マテヲ設ケ置キ登記用紙ニ登記番號ヲ記載スル毎ニ登記
用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ登記番號ヲ記入スヘシ

第二十九條 登記用紙ヲ閉鎖シタルトキハ見出帳中備考欄ニ其事由
ヲ記載シテ其見出ヲ朱抹スヘシ

第三十條 商號ノ變更又ハ未成年者、妻、後見人若クハ支配人ノ氏
名ノ變更ノ登記ヲ爲シタルトキハ見出帳中更ニ相當ノ部ニ其見出

ヲ移シ前ノ見出ノ備考欄ニ第何冊第何丁ニ移シタル旨ヲ記載シテ其見出ヲ朱抹スヘシ

第三十一條 甲登記所ノ管轄地ノ一部カ乙登記所ノ管轄ニ轉屬シタルトキハ甲登記所ハ其部分ニ屬スル登記簿又ハ其謄本及ヒ附屬書類又ハ其謄本ヲ乙登記所ニ移送スヘシ但登記簿ノ謄本ニハ現存セラル登記ノミヲ謄寫スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ甲登記所ノ登記用紙中豫備欄ニ管轄變更ニ因リ轉出シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印シ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第三十二條 前條ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本及ヒ附屬書類又ハ其謄本ヲ移送ヲ受ケタルトキハ乙登記所ハ登記簿ノ謄本ニ依リ登記簿ニ登記ヲ移スヘシ

登記簿ニ登記ヲ移スニハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ前登記管轄ノ表示ヲ爲シ前登記番號ヲ記載シ豫備欄ニ管轄變更ニ因リ轉入シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

第三十三條 會社ノ商號ハ商號登記簿ニ登記スルコトヲ要セス

第三十四條 同一ノ當事者ヨリ數箇ノ商號ノ登記ノ申請アリタルト

キハ各商號ニ付キ各別ノ登記用紙ニ登記ヲ爲スヘシ

第三十五條 商業ヲ營ム未成年者カ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其登記事項カ未成年者ノ死亡ニ因リ消滅シタルトキハ親權ヲ行フ者又

ハ後見人ヨリ登記ノ申請ヲ爲スヘシ

第三十六條 商業ヲ營ム妻カ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其登記事項カ妻ノ死亡ニ因リ消滅シタルトキハ其夫ヨリ登記ノ申請ヲ爲スヘシ

第三十七條 被後見人ノ爲メニ商業ヲ營ム後見人カ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其登記事項カ後見人ノ死亡ニ因リ消滅シタルトキハ後見監督人ヨリ登記ノ申請ヲ爲スヘシ

第三十八條 前三條ノ場合ニ於テハ申請書ニ登記事項ノ消滅シタルコトヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ

第三十九條 數人ノ支配人ノ登記ノ申請アリタル場合ニ於テハ各別ノ登記用紙ニ登記ヲ爲スヘシ

第四十條 登記ヲ爲シタル未成年者、妻若クハ後見人ノ營業所又ハ支配人ヲ置キタル營業所カ登記所ノ管轄外ニ移轉シタルトキハ登記用紙中消滅欄ニ其登記ヲ爲シ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ
前項ノ規定ハ登記所ノ管轄内ニ他ノ營業所アル場合ニハ之ヲ適用セス

第四十一條 商號ノ登記ヲ爲シタル者ノ營業所カ商號ノ效力ヲ有スル區域外ニ移轉シタルトキハ登記用紙中消滅欄ニ其登記ヲ爲シ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第四十二條 前條ノ規定ハ市町村又ハ商號ノ登記ノ效力ニ付キ市町村ニ準スヘキ區域ノ變更ニ因リ商號ノ登記ノ效力カ消滅シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條 合資會社ノ社員ノ氏名、住所、出資及ヒ責任ノ登記ハ登記簿ノ末尾ニ編綴セル用紙ニ之ヲ爲スヘシ其登記事項ノ變更又ハ消滅ノ登記ニ付テモ亦同シ

第四十四條 會社カ其本店又ハ支店ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ移轉ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

前項ノ規定ハ登記所ノ管轄内ニ本店又ハ他ノ支店アル場合ニハ之ヲ適用セス

第四十五條 會社登記簿ニ清算終了ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第四十六條 登記ノ申請書ニ添附シタル書類ノ原本ノ還付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請人ハ其原本ト共ニ原本ニ相違ナキ旨ヲ登記シタル謄本ヲ添附スヘシ
登記官吏カ書類ノ原本ヲ還付スルトキハ其謄本ニ原本還付ノ旨ヲ記載シテ捺印スヘシ

第四十七條 外國會社ノ登記ハ其會社ト同種ノ會社ノ登記簿又ハ最モ之ニ類似セル會社ノ登記簿ニ之ヲ爲スヘシ
登記スヘキ事項ノ名稱カ或欄ノ表示ニ適合セサルトキハ最モ之ニ類似セル欄ニ記載シタル上其名稱ヲ附記スヘシ
第四十八條 外國會社ノ支店ノ廢止ノ登記ハ登記用紙中豫備欄ニ之ヲ爲シ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第四十九條 商法施行前ニ登記シタル事項ノ變更若クハ消滅ノ登記又ハ商法施行前ニ設立ノ登記ヲ爲シタル會社ニ付キ商法施行法ノ規定ニ依リ其會社ノ登記ニ追加スヘキ事項ノ登記ハ從來ノ登記簿ニ之ヲ爲スヘシ但從來ノ登記簿用紙中相當ノ欄ナキ事項ニ付テハ變更欄ニ其登記ヲ爲スヘシ

第五十條 不動産登記法施行細則第四條、第五條、第十二條、第十三條、第二十條乃至第二十四條、第二十七條、第三十三條乃至第三十九條、第四十七條、第五十一條、第七十一條第一項及ヒ第七十四條ノ規定ハ商業登記ニ之ヲ準用ス

附錄第一號	商號登記簿
區裁判所	紙數表紙ヲ除キ 枚
	地方裁判所長

商業登記取扱手續

登記簿		登記	變更	消滅
一商號	二營業種類	三營業所	四商號使用者姓名住所	登記ノ年月日及ヒ登記官印
				右明治年 月日登記
				備
				丁
				明治年月日登記

附錄第二號

未成年者登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ 枚

地方裁判所長

附錄第三號

妻登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ 枚

地方裁判所長

商業登記取扱手續

登録番號		第 號		登録番號		第 號					
備豫	登記月日及官印	三營業所	二營業種類ノ	一者ノ住所	未成年者ノ住氏	備豫	登記月日及官印	三營業所	二營業種類ノ	一者ノ住所	未成年者ノ住氏
	右明治年 月日登記						右明治年 月日登記				
減消	更	變				減消	更	變			
明治年	月日登記					明治年	月日登記				

四三八

登録番號		第 號		登録番號		第 號					
備豫	登記月日及官印	三營業所	二營業種類ノ	一妻ノ住所	妻ノ住氏	備豫	登記月日及官印	三營業所	二營業種類ノ	一妻ノ住所	妻ノ住氏
	右明治年 月日登記						右明治年 月日登記				
減消	更	變				減消	更	變			
明治年	月日登記					明治年	月日登記				

四三九

附錄第四號

後見人登記簿

區裁判所

登記番號

第

號

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
夜見人	被後見人	姓名	住居	種類	營業所	登記	年月	日	印

備豫	減消	明治年月日登記
----	----	---------

四四〇

登記番號

第

號

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
夜見人	被後見人	姓名	住居	種類	營業所	登記	年月	日	印

備豫	減消	明治年月日登記
----	----	---------

紙數表紙ヲ除キ 枚
地方裁判所長

附錄第五號

支配人登記簿

區裁判所

登記番號

第

號

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
支配人	姓名	住居	種類	營業所	登記	年月	日	印	右明治年月日登記

備豫	減消	明治年月日登記
----	----	---------

紙數表紙ヲ除キ 枚

地方裁判所長

登記番號

第

號

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
支配人	姓名	住居	種類	營業所	登記	年月	日	印	右明治年月日登記

備豫	減消	明治年月日登記
----	----	---------

商業登記取扱手續

四四二

更 變	更 變
更 變	更 變

紙數表紙ヲ除キ
枚

地方裁判所長

附錄第六號

合名會社登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ
枚

地方裁判所長

附錄第七號

合資會社登記簿

區裁判所

登記 番號		第 號		...		六		五		四		三		二		一		印	
年	月	日	第	一	號	代	表	年	設	目	支	本	商	支	本	商	支	本	商
...
七																			
價及種資所名ノ社 格ヒ類ノ出住氏員																			

商業簿記取扱手續

登記番號		第 號	
商號	社員ノ氏名、住所、出資ノ種類、價格及ヒ責任	商號	社員ノ氏名、住所、出資ノ種類、價格及ヒ責任
變	更	變	更

登記番號		第 號	
七	八	九	十
社名、住所、丁數	存立ノ時期又ハ解散ノ事由	解散ノ年月日	清算ノ年月日
明治年月日登記	明治年月日登記	明治年月日登記	明治年月日登記
備豫	備豫	備豫	備豫

紙數表紙ヲ除キ 枚
地方裁判所長

四四五

附錄第八號
株式會社登記簿
區裁判所

更	變	更	變
更	變	更	變

四四四

商業登記取扱手續

更	變	更	變
更	變	更	變

登記番號		第	號
登記年月日	第一	明治	年月日
及第	第二	明治	年月日
官印	第三	明治	年月日
第一	第四	明治	年月日
商號	第五	明治	年月日
本店	第六	明治	年月日
支店	第七	明治	年月日
目的	第八	明治	年月日
一	第九	明治	年月日
十	第十	明治	年月日
十一	第十一	明治	年月日
十二	第十二	明治	年月日
十三	第十三	明治	年月日
十四	第十四	明治	年月日
十五	第十五	明治	年月日
十六	第十六	明治	年月日
十七	第十七	明治	年月日
十八	第十八	明治	年月日
十九	第十九	明治	年月日
二十	第二十	明治	年月日
二十一	第二十一	明治	年月日
二十二	第二十二	明治	年月日
二十三	第二十三	明治	年月日
二十四	第二十四	明治	年月日
二十五	第二十五	明治	年月日
二十六	第二十六	明治	年月日
二十七	第二十七	明治	年月日
二十八	第二十八	明治	年月日
二十九	第二十九	明治	年月日
三十	第三十	明治	年月日
三十一	第三十一	明治	年月日
三十二	第三十二	明治	年月日
三十三	第三十三	明治	年月日
三十四	第三十四	明治	年月日
三十五	第三十五	明治	年月日
三十六	第三十六	明治	年月日
三十七	第三十七	明治	年月日
三十八	第三十八	明治	年月日
三十九	第三十九	明治	年月日
四十	第四十	明治	年月日
四十一	第四十一	明治	年月日
四十二	第四十二	明治	年月日

紙數表紙ヲ除キ 枚
地方裁判所長

四四七

附錄第九號
株式合資會社登記簿
區裁判所

更	變	備	豫
更	變	更	變

四四六

商業登記取扱手帳

更	變	更	變
更	變	更	變

二		十		五		四		三		二		一		登		番		記	
格		類ノ出外金所名ノ社責無		年		目		支		本		商		月		年		日	
價		及種資ノ以株住氏員任限		月		的		店		店		號		日		日		日	
二十		十一		十		九		八		七		六		五		四		三	
利優先株主ノ權		金拂込ミタル株		名新株ニ付キ		ノ年月日		ノ年月日		ノ年月日		ノ年月日		ノ年月日		ノ年月日		ノ年月日	

部	商	號	登	簿	登	簿	登	簿	登	簿	登	簿	登	簿	登	簿	登	簿	登	簿

附錄第十號
商號登記見出帳
區裁判所

更		變		備		豫		五		二		四		三		二		一	
月		日		年		日		年		日		年		日		年		日	
登		記		明		治		年		月		日		年		月		日	
備		豫		備		豫		備		豫		備		豫		備		豫	

四四九

四四八

部										商
										號
										ノ登記簿
										ノ登記簿
										ノ丁數番
										登記
										備
										考

附錄第十一號

未成年者登記見出帳

區裁判所

部										妻ノ氏名
										ノ登記簿
										ノ登記簿
										ノ丁數番
										登記
										備
										考

附錄第十二號

妻登記見出帳

區裁判所

部										妻ノ氏名
										ノ登記簿
										ノ登記簿
										ノ丁數番
										登記
										備
										考

商業登記取扱手續

部										未成年者
										ノ氏名
										ノ登記簿
										ノ登記簿
										ノ丁數番
										登記
										備
										考

未成年者登記簿
ノ氏名
ノ登記簿
ノ登記簿
ノ丁數番
登記
備
考

部										未成年者
										ノ氏名
										ノ登記簿
										ノ登記簿
										ノ丁數番
										登記
										備
										考

部										妻ノ氏名
										ノ登記簿
										ノ登記簿
										ノ丁數番
										登記
										備
										考

附錄第十三號

後見人登記見出帳

區裁判所

四五〇

四五二

附録第十五號

合名會社登記見出帳

區裁判所

部							
支配人ノ 氏名	ノ登記簿 ノ册數	ノ登記簿 ノ丁數	ノ登記簿 番登	記 備	考		

部							
後見人ノ 氏名	ノ登記簿 ノ册數	ノ登記簿 ノ丁數	ノ登記簿 番登	記 備	考		

附録第十四號

支配人登記見出帳

區裁判所

部							
合名會社 ノ商號	ノ登記簿 ノ册數	ノ登記簿 ノ丁數	ノ登記簿 番登	記 備	考		

部							
支配人ノ 氏名	ノ登記簿 ノ册數	ノ登記簿 ノ丁數	ノ登記簿 番登	記 備	考		

合名會社
ノ商號
ノ登記簿
ノ册數
ノ登記簿
ノ丁數
ノ登記簿
番登
記
備
考

支配人ノ
氏名
ノ登記簿
ノ册數
ノ登記簿
ノ丁數
ノ登記簿
番登
記
備
考

部 /			
			株式会社 ノ商號 ノ登記簿 ノ冊數 ノ登記簿 ノ丁數 番登 記備 考
			株式会社 ノ商號 ノ登記簿 ノ冊數 ノ登記簿 ノ丁數 番登 記備 考
			株式会社 ノ商號 ノ登記簿 ノ冊數 ノ登記簿 ノ丁數 番登 記備 考

部 /			
			合資會社 ノ商號 ノ登記簿 ノ冊數 ノ登記簿 ノ丁數 番登 記備 考
			合資會社 ノ商號 ノ登記簿 ノ冊數 ノ登記簿 ノ丁數 番登 記備 考
			合資會社 ノ商號 ノ登記簿 ノ冊數 ノ登記簿 ノ丁數 番登 記備 考

附錄第十六號

合資會社登記見出帳

區裁判所

部 /			
			株式合資會社 ノ商號 ノ登記簿 ノ冊數 ノ登記簿 ノ丁數 番登 記備 考
			株式合資會社 ノ商號 ノ登記簿 ノ冊數 ノ登記簿 ノ丁數 番登 記備 考
			株式合資會社 ノ商號 ノ登記簿 ノ冊數 ノ登記簿 ノ丁數 番登 記備 考

附錄第十八號

株式合資會社登記見出帳

區裁判所

附錄第十七號

株式會社登記見出帳

區裁判所

部 /			
			合資會社 ノ商號 ノ登記簿 ノ冊數 ノ登記簿 ノ丁數 番登 記備 考
			合資會社 ノ商號 ノ登記簿 ノ冊數 ノ登記簿 ノ丁數 番登 記備 考
			合資會社 ノ商號 ノ登記簿 ノ冊數 ノ登記簿 ノ丁數 番登 記備 考

株式合資會社ノ商號ノ冊數ノ丁數番號登記備考

部		ノ		部		ノ		部		ノ	

附錄第十九號

外國會社登記見出帳

區裁判所

附錄第二十號

商業登記受附帳

區裁判所

受附ノ年月日番號
附登記ノ目的
申請人ノ氏名
備考

受附ノ年月日番號		附登記ノ目的		申請人ノ氏名		備考	

商業登記取扱手續

外國會社名ノ冊數ノ丁數番號登記備考

部		ノ		部		ノ		部		ノ	

外國會社名ノ冊數ノ丁數番號登記備考

部		ノ		部		ノ		部		ノ	

受附ノ年月日番號
附登記ノ目的
申請人ノ氏名
備考

受附ノ年月日番號		附登記ノ目的		申請人ノ氏名		備考	

附錄第二十一號

(用紙厚紙五寸横一寸)

郡市町村番地

印鑑

氏

何年何月生

(注意)會社ノ代表者ナルトキハ氏名ノ肩ニ會社ノ營業所ノ所在地ノ番號並ニ代表者ノ資格ヲ記載スヘシ

登記濟證	
登記種類	登記番號
登記名	登記件

申請人姓名	住氏名	登記年月日
右登記濟ナルコトヲ證ス	明治 年 月 日	區裁判所

勅令第二百五號

(明治三十二年五月十九日)

登録稅法施行規則

- 第一條 印紙ヲ以テ納ムル登録稅ハ登録ニ關スル書類ニ收入印紙ヲ貼用シテ之ヲ納ムヘシ
- 第二條 登録稅額五百圓以上ナルトキハ稅務署ニ申出テ現金ヲ以テ納ムルコトヲ得

- 第三條 官廳又ハ公署ヨリ登記又ハ假登記ヲ登記所ニ囑託スヘキ場合ニ於テハ登録稅ヲ納ムヘキ者其ノ官廳又ハ公署ニ相當印紙又ハ現金ノ領收證ヲ提出シ其ノ官廳又ハ公署ハ登記囑託書ニ其ノ印紙ヲ貼用シ又ハ其ノ證書ヲ添付シテ登記所ニ送付スヘシ
- 第四條 土地臺帳ノ登録ニ付登録稅ヲ納ムヘキ場合ニ於テ書類ヲ提出セサルトキハ稅務署ノ通知ニ依リ相當印紙又ハ現金ノ領收證ヲ稅務署ニ提出スヘシ
- 第五條 土地臺帳ノ登録ニ付登録稅ヲ納ムヘキ場合ニ於テ相當印紙ヲ貼用セス若ハ提出セス又ハ現金納付ノ手續ヲ爲ササルトキハ納稅告知書ヲ發シ現金ヲ以テ之ヲ徵收スルコトヲ得
- 第六條 登録稅法第十九條ノ二ニ依ル評價人ノ旅費ハ實費トシ手當ハ一日金五十錢以上二圓以下ノ範圍内ニ於テ登記所ノ見込ヲ以テ之ヲ支給ス

大藏省訓令第三十八號

(明治三十二年五月二十六日)

商業登記取扱手續 登録稅法施行規則第四條ニ依リ印紙提出者ノ取扱ノ件

登録稅法施行規則第四條ニ依リ印紙提出者ノアルトキ取扱ノ件

登録稅法施行規則第四條ニ依リ印紙ヲ提出シタル者アルトキハ左ノ
通取扱フヘシ

- 一 稅務署ハ印紙ノ提出者ニ對シ其ノ領收書ヲ交付スヘシ但シ提出者ノ面前ニ於テ以下三項ノ手續ヲ爲シタルトキハ領收書ノ交付ヲ要セス
- 二 土地ノ異動ニ關シ土地所有者ヨリ願出又ハ届出アリタルニ依リ土地臺帳ノ登録ヲ要スルニ至リタル場合ニ於テハ土地ノ異動ニ關スル願書又ハ届書ニ其ノ印紙ヲ貼付シ置クヘシ
- 三 土地ノ異動ニ關シ官廳ヨリ通知アリタルニ依リ土地臺帳ノ登録ヲ要スルニ至リタル場合ニ於テハ其ノ通知書ニ其ノ印紙ヲ貼付シ置クヘシ
- 四 前二項ヲ除ク外ノ場合ニ於テハ土地所有者ノ住所、氏名、登

- 錄ヲ要スル土地ノ所在地、地番、地目、地價及ヒ登録稅法第五條中該當事項ヲ記シタル調書ヲ作り之ニ其ノ印紙ヲ貼用スヘシ
- 五 貼付シタル印紙ニハ書類ノ紙面ト印紙ノ彩紋トニカケ黒肉ヲ用イテ消印ヲ押捺スヘシ
- 六 二項乃至四項ニ依リ印紙ヲ貼付シタル書類ハ少ナクトモ毎月一回上司ニ於テ檢閲シ貼付印紙及ヒ消印ノ有無當否ヲ調査スヘシ

大藏省訓令第三十九號 (明治三十二年五月二十日)

登録稅法第五條及第十六條ノ登録稅額報告

方ヲ定メ登録稅法施行手續ヲ廢スノ件

稅務管理局 日本銀行

登録稅法第五條及ヒ第十六條ノ登録稅額ハ各條各號毎ニ印紙ト現金

登録稅法第五條及ヒ第十六條ノ登録稅額報告ノ件 四六一
前法第五百六十二條第一項第二項乃至第五號ニ掲クル書類ノ件

收入トニ區分シ 毎年度分ノ集計ヲ爲シ翌年度四月二十日マテニ報告スヘシ

明治二十九年大藏省訓令第五號ハ自今之ヲ廢止ス

大藏省訓令第三十九號參照

明治二十九年(三月三十一日)大藏省訓令第五號ハ登録税法施行手續ナリ

遞信省令第十九號 (明治三十二年五月二十六日)

商法第五百六十二條第一項第二號乃至第五號ニ掲クル書類ノ件

第一條 海員名簿ハ第一號書式、屬具目錄ハ第二號書式、航海日誌

ハ第三號書式、旅客名簿ハ第四號書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

前項ノ書類ハ書式ニ示ス順序ニ依リ之ヲ編綴シ且各頁ニ頁數ヲ附

スヘシ但其紙數ハ適宜トス

第二條 前條ノ書類ニハ管海官廳ノ認可ヲ經テ書式ニ定メサル事項ヲ記載スル爲メ欄ヲ設クルコトヲ得

旅客名簿及航海日誌ハ沿海航船及航路定限ヲ内國ニ限リタル近海航船ニ在リテハ管海官廳ノ認可ヲ經テ書式ニ定ムル事項ヲ省略スルコトヲ得

第三條 第一條ノ書類ニハ各事項ニ付英譯ヲ附シ又ハ頁ノ上部ニ船舶及船舶所有者ノ名稱等ヲ附記シ又ハ記載心得等ヲ掲クルコトヲ得

第一條ノ書類ハ書式ニ定ムル事項ノ位置ヲ變更シテ之ヲ調製スルコトヲ得但其順序ヲ變更スルコトヲ得ス

第一號書式

海 番 號

商法第五百六十二條第一項第二號乃至第五號ニ掲ケル書類ノ件四六三

(備考) 行數ハ適宜トス以下各書式中行ヲ附シタルモノニ付テモ亦同シ

(三)

番 號 印	被 雇 者 署 名 捺 印	船 員 手 帖 ノ 番 號	住 所	職 務	給 料	公 認	飲食物	又ハ其	代料ニ	關スル	記事
							特別	契約	條項		
第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	雇入ノ年 月日	雇入ノ場 所	航 路	雇入ノ期 間	雇 者 署 名 捺 印
明治 年 月 日	明治 年 月 日	明治 年 月 日	明治 年 月 日	明治 年 月 日	明治 年 月 日	明治 年 月 日					

(備考)

- 一 各事項中記載スヘキコトナキモノハ其欄ニ斜線ヲ畫スヘシ
- 二 雇入期間ノ欄ニハ何箇月又ハ一年等又ハ一航海ト記載シ且一航海ト記載スル場合ニハ其航路ヲ航路ノ欄ニ記載スヘシ
- 三 番號ノ欄ニハ雇入ノ公認ヲ受ケル毎ニ順次被雇者ニ付キ一二三四五等ノ番號ヲ附シ之ヲ記載スヘシ
- 四 船員手帖ノ番號ノ欄ニハ手帖ヲ交付シタル管海官廳ノ所在地ヲ其番號ニ冠附シ之ヲ記載スヘシ例ヘハ東京ニ於テ交付シタル第一號ノ船員手帖ニハ東京第一號ト記載スルカ如シ

商法第五百六十二條第一項第二號乃至第五號ニ掲ケル書類ノ件四六七

- 五 給料ノ欄ニハ一箇月若干又ハ一航海若干等ト給料ノ額ヲ記載スヘシ
- 六 (三) ナニ頁以上連続シテ設クル場合ニハ最初ノ頁ヲ除ク外飲食物又ハ其代料ニ關スル記事ノ欄ヨリ雇入ノ場所ニ至ル迄ノ七欄ヲ置クヲ要セス
- 七 海員名簿ニ年月日又ハ金額ヲ記載シ又ハ雇入期間ヲ記載スルニハ一二三十ノ字ヲ用ヒスシテ壹貳叁拾ノ字ヲ用フヘシ

(四)

頁番號	被雇者署名捺印	雇止ノ事由	雇止ノ年月日	雇止ノ場所	雇者署名捺印	公認
			明治年月日			明治年月日公認
			明治年月日			明治年月日公認
			明治年月日			明治年月日公認
			明治年月日			明治年月日公認
			明治年月日			明治年月日公認

明治年月日				明治年月日公認			
			明治年月日				明治年月日公認
			明治年月日				明治年月日公認
			明治年月日				明治年月日公認
			明治年月日				明治年月日公認

頁番號	被雇者署名捺印	契約更新又ハ變更ノ年月日、場所及其要旨	雇者署名捺印	公認
				明治年月日公認
				明治年月日公認
				明治年月日公認
				明治年月日公認

商法第五百六十二條第一項第二號乃至第五號ニ掲クル書類ノ件四六九

(五)

							明治年月日公認
							明治年月日公認
							明治年月日公認
							明治年月日公認
							明治年月日公認
							明治年月日公認

四七〇

雇者署名捺印 雇入期間 航路 雇入ノ年月日 雇入ノ場所
 頁番號 被雇者署名捺印 船員手帖番號 住 所 職務 給料 公 認

第		明治年月日	
號			明治年月日

(六)

							明治年月日
							明治年月日
							明治年月日
							明治年月日
							明治年月日
							明治年月日

(備考)

一 (六)ハ雇入公認ヲ受ケタル後海員ヲ補充又ハ追加シタルトキ其雇入公認ヲ受ケル定
 メニ設ケルモノトス本書式ハ同時ニ二名ノ海員ノ雇入ヲ爲ス場合ニ付テ之ヲ定メ
 タルモ一名或ハ三名以上ノ海員ノ雇入公認ヲ受ケル様之ヲ調製スルモ妨ナシ
 商法第五百六十二條第一項第二號乃至第五號ニ掲ケル書類ノ件四七一

二番號ハ海員補充ノ場合ニ在リテハ一ノ二又ハ二ノ二等ト記載スヘシ即チ先ニ雇入公認ヲ受クル際一ノ番號ヲ附シタル海員ニ代ヘテ雇入シタルモノナルトキハ一ノ二トシ二ノ番號ヲ附シタル海員ニ代ヘテ雇入シタルモノナルトキハ二ノ二ト記載スルカ如シ海員追加ノ場合ニ在リテハ先ニ雇入公認ヲ受ケタル際最後ニ附シタル番號ニ次ク番號ヲ記載スヘシ即チ先ニ雇入公認ヲ受ケタル際百ノ番號ヲ附シタル海員最後ノモノナルトキハ百一ト記載スルカ如シ

第二號書式

具	屬	船	番	號
積	量	船	籍	港

(一)

目	航路定限
錄	船船所有者ノ氏名(名稱)及住所
	船長氏名及住所

屬具名稱	數量	記	事

商法第五百六十二條第一項第二號乃至第五號ニ掲クル書類ノ件四七三

商法第五百六十二條第一項第二號乃至第五號ニ掲クル書類ノ件四七五

官 廳 記 事			

(一)

海	日	誌		
丸				
積 量	航 路 定 限	船 舶 所 有 者 ノ 氏 名 (<small>名稱</small>) 及 住 所	船 長 氏 名 及 住 所	

第三號書式

航 船	番 號
船 籍 港	

(二)

(二)

番號	事項	記載ヲ爲シタル頁數
一	豫定ノ航路ヲ變更シタル コト	
二	人命又ハ船舶ヲ救ヒタル コト	
三	衝突其他ノ海難ニ罹リタ ルコト	
四	豫定セサル港ニ寄港シタ ルコト	
五	船舶ニ於テ急迫ノ危險アリタル爲メ船長ニ於テ船舶ヲ去リタルコト	
六	船長ニ於テ海員ヲ懲戒シタルコト	
七	船員法第四十一條乃至第四十四條ニ依リテ處分ヲ爲シタルコト	
八	船員法第四十五條ニ據リ救助ヲ求メタルコト	
九	船中ニ於テ犯罪アリタルコト	
十	船中ニ於テ出生アリタルコト	
十一	船中ニ於テ死亡アリタルコト及死亡者ノ遺産ヲ處分シタルコト	

(三)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

商法第五百六十二條第一項第二號乃至第五號ニ掲ケル書類ノ件四七七

商法第五百六十二條第一項第二號乃至第五號ニ掲ケル書類ノ件四八一

出 名	
ノ男女 別女	
私生子又ハ 庶子ナルト キハ其旨	
出 名	
ノ男女 別女	
私生子又ハ 庶子ナルト キハ其旨	

(備考) 番號ノ欄内ニハ三)ニ示シタル番號ヲ記載スヘシ例ハ豫定ノ航路ヲ變更シタルコトヲ航海日誌ニ記載シタルトキハ一ト記載スルカ如シ

(六)

											番號	
											發生ノ	發生ノ
											年月日時	年月日時
											場	場
											所	所
											年	年
											月	月
											日	日
											記	載ノ
											事	事

表

着		
時日月年	港	時日月年

商法第五百六十二條第一項第二號乃至第五號ニ掲クル書類ノ件四八三

(六)

死			
死亡ノ年	死亡ノ月	死亡ノ日	死亡ノ時
死亡ノ場所	死亡ノ族稱	死亡ノ氏名	死亡ノ者トノ續柄
出生ノ年月日	男別女別	本籍地	
明治 年 月 日 午 時			
船長 (氏名印)	船長 (氏名印)	船長 (氏名印)	船長 (氏名印)
證人 (氏名印)	證人 (氏名印)	證人 (氏名印)	證人 (氏名印)
(出生ノ年月日)	(出生ノ年月日)	(出生ノ年月日)	(出生ノ年月日)
明治 年 月 日 午 時	明治 年 月 日 午 時	明治 年 月 日 午 時	明治 年 月 日 午 時
船長 (氏名印)	船長 (氏名印)	船長 (氏名印)	船長 (氏名印)
證人 (氏名印)	證人 (氏名印)	證人 (氏名印)	證人 (氏名印)
(出生ノ年月日)	(出生ノ年月日)	(出生ノ年月日)	(出生ノ年月日)
明治 年 月 日 午 時	明治 年 月 日 午 時	明治 年 月 日 午 時	明治 年 月 日 午 時
船長 (氏名印)	船長 (氏名印)	船長 (氏名印)	船長 (氏名印)
證人 (氏名印)	證人 (氏名印)	證人 (氏名印)	證人 (氏名印)
(出生ノ年月日)	(出生ノ年月日)	(出生ノ年月日)	(出生ノ年月日)
明治 年 月 日 午 時	明治 年 月 日 午 時	明治 年 月 日 午 時	明治 年 月 日 午 時
船長 (氏名印)	船長 (氏名印)	船長 (氏名印)	船長 (氏名印)
證人 (氏名印)	證人 (氏名印)	證人 (氏名印)	證人 (氏名印)
(出生ノ年月日)	(出生ノ年月日)	(出生ノ年月日)	(出生ノ年月日)

(備考) 各事項中不明ナルモノアルトキハ相當欄内ニ不詳ト記載スヘシ(八)ニ付テモ亦同シ

贈本送付ノ年月日時及送付先

贈本送付ノ年月日時及送付先

(七)

生		出	
出生ノ年	出生ノ月	出生ノ日	出生ノ時
出生ノ場所	出生ノ族稱	出生ノ氏名	出生ノ者トノ續柄
出生ノ年月日	男別女別	本籍地	
明治 年 月 日 午 時			
船長 (氏名印)	船長 (氏名印)	船長 (氏名印)	船長 (氏名印)
證人 (氏名印)	證人 (氏名印)	證人 (氏名印)	證人 (氏名印)
(出生ノ年月日)	(出生ノ年月日)	(出生ノ年月日)	(出生ノ年月日)
明治 年 月 日 午 時	明治 年 月 日 午 時	明治 年 月 日 午 時	明治 年 月 日 午 時
船長 (氏名印)	船長 (氏名印)	船長 (氏名印)	船長 (氏名印)
證人 (氏名印)	證人 (氏名印)	證人 (氏名印)	證人 (氏名印)
(出生ノ年月日)	(出生ノ年月日)	(出生ノ年月日)	(出生ノ年月日)
明治 年 月 日 午 時	明治 年 月 日 午 時	明治 年 月 日 午 時	明治 年 月 日 午 時
船長 (氏名印)	船長 (氏名印)	船長 (氏名印)	船長 (氏名印)
證人 (氏名印)	證人 (氏名印)	證人 (氏名印)	證人 (氏名印)
(出生ノ年月日)	(出生ノ年月日)	(出生ノ年月日)	(出生ノ年月日)

四八二

商法第五百六十二條第一項第二號乃至第三號ニ掲ケル書類ノ件四八五

等級旅客氏名國籍住所	年	乘	船
十二歲以上	五歲以下	上	下
未滿	未滿	年	月
日	日	日	日
港	港	港	港

(一)

簿	名	客	積	航	路	定	限
丸			量				
			上				
			中				
			下				
			合				
			計				

船積
旅客定員
船積所有者ノ氏名(名稱)及住所
船長氏名及住所

第四號書式

亡

死亡者ノ氏名	出生ノ年月日	性別	本籍地	明治年月日午時	船長(氏名印)	證人(氏名印)	贈本送付ノ年月日時及送付先
死亡ノ年月日時	死亡ノ場所	戸主ノ氏名	戸主ノ氏名	明治年月日午時	船長(氏名印)	證人(氏名印)	贈本送付ノ年月日時及送付先
死亡ノ年月日時	死亡ノ場所	戸主ノ氏名	戸主ノ氏名	明治年月日午時	船長(氏名印)	證人(氏名印)	贈本送付ノ年月日時及送付先

族番號 船籍港

(二)

等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等
明 月 日	明 月 日	明 月 日	明 月 日	明 月 日	明 月 日	明 月 日	明 月 日	明 月 日	明 月 日	明 月 日	明 月 日
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
明 月 日	明 月 日	明 月 日	明 月 日	明 月 日	明 月 日	明 月 日	明 月 日	明 月 日	明 月 日	明 月 日	明 月 日
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年

等	等	等	等
明 月 日	明 月 日	明 月 日	明 月 日
年	年	年	年
明 月 日	明 月 日	明 月 日	明 月 日
年	年	年	年

遞信省令第二十號 (明治三十二年五月二十六日)

商法施行法第百二十二條ノ規定ニ依リ湖川、
港灣及沿岸小航海ノ範圍

湖川、港灣ノ範圍ハ平水航路ノ區域ニ依ル

沿岸小航海ノ範圍ハ播磨國明石川口西岸ヨリ淡路國江崎ニ至ル線、
淡路國押登崎ヨリ阿波國大磯崎ニ至ル線、伊豫國佐田岬ヨリ高嶋ヲ
經テ豊後國地藏崎ニ至ル線及豊前國部埼ヨリ長門國宇部村ニ至ル線

商法施行法第百二十二條ノ規定ニ依リ湖川港灣沿岸小航海ノ範圍四八七

ヲ以テ限ラレタル内海トス

法律第七十二號 (明治二十三年八月二十三日)

銀行條例

明治二十八年法律第一號ヲ以テ本條ヲ削除ス
明治二十八年法律第一號ヲ以テ十時ニ改メ
明治二十八年法律第一號ヲ以テ九時ニ改メ
明治二十八年法律第一號ヲ以テ四時ニ改メ

第一條 公ニ開キタル店舗ニ於テ營業トシテ證券ノ割引ヲ爲シ又ハ爲替事業ヲ爲シ又ハ諸預リ及貸付ヲ併セ爲ス者ハ何等ノ名稱ヲ用井ルニ拘ラス總テ銀行トス

第二條 銀行ノ事業ヲ營マントスル者ハ其資本金額ヲ定メ地方長官ヲ經由シテ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第三條 銀行ハ每半箇年營業ノ報告書ヲ製シ地方長官ヲ經由シテ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四條 銀行ハ每半箇年財産目錄貸借對照表ヲ製シ新聞紙其他ノ方法ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

第五條 銀行ノ營業時間ハ午前第九時ヨリ午後第三時マテトス但營業ノ都合ニ依リ之ヲ増加スルコトヲ得

第七條 銀行ノ休日ハ大祭日、祝日、日曜日及銀行營業地ニ行ハルル定例ノ休日トス但止ヲ得サル事故アルトキハ地方長官ニ届出テ豫メ新聞紙其他ノ方法ヲ以テ公告シタル上休業スルコトヲ得

第八條 大藏大臣ハ何時タリトモ地方長官又ハ其他ノ官吏ニ命シテ銀行ノ業務ノ實況及財産ノ現況ヲ検査セシムルコトヲ得

第九條 第二條ノ規定ニ違反シ大藏大臣ノ認可ヲ受ケスシテ銀行ノ事業ヲ營ミタルトキハ其營業主、會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、外國會社ノ代表者ヲ十圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス

第十條 銀行ニ於テ第三條ノ報告若ハ第四條ノ公告ヲ爲サス又ハ其報告中若ハ公告中ニ詐僞ノ陳述ヲ爲シ若ハ事實ヲ隱蔽シタルトキハ其營業主、會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、外國會社ノ代表者ヲ五圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス

第八條ノ検査ヲ受クルコトヲ拒ミタルトキハ其營業主、會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、外國會社ノ代表者ヲ十圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス

同改正
明治三十三年三月十日法律第五十二號ヲ以テ

銀行條例

四八九

第十一條 此條例ハ日本銀行橫濱正金銀行國立銀行ニ適用セス

四九〇

司法省令第三十四號 (明治三十二年六月十二日)

法人登記簿及ヒ夫婦財產契約登記簿ノ謄本

又ハ抄本ノ請求等ニ關スル手数料ノ件

第一條 非訟事件手續法第二百二十五條ノ規定ニ依リ法人登記簿及ヒ夫婦財產契約登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ其用紙一枚ニ付キ手数料金十錢ヲ納ムヘシ但一枚ニ滿タサルモノト雖モ仍ホ之ヲ一枚ニ計算ス

第二條 非訟事件手續法第二百二十五條ノ規定ニ依リ登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スル者ハ每一件手数料金十錢ヲ納ムヘシ

第三條 明治三十二年司法省令第十五號第十條ノ規定ニ依リ法人又ハ夫婦財產契約ノ登記ニ付キ登記濟證ノ交付ヲ請求スル者ハ手数料

料金五錢ヲ納ムヘシ

第四條 非訟事件手續法第四十二條第一項又ハ第五十七條第一項ノ規定ニ依リ書類ノ謄本ノ交付ヲ請求スル者ハ其謄本一枚ニ付キ手数料金十錢ヲ納ムヘシ但一行二十字詰二十行ヲ以テ一枚トシ十一行以上ハ一枚ニ計算シ十行以下ハ半枚ニ計算ス

第五條 手数料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

第六條 前五條ノ規定ハ官吏又ハ公吏カ政府ノ利益ノ爲メ其職務ヲ以テ請求ヲ爲ス場合ニハ之ヲ適用セス

第七條 本令ハ明治三十二年六月十六日ヨリ之ヲ施行ス

第八條 明治三十一年司法省令第十號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

司法省令第三十四號參照

明治三十一年(七月)司法省令第十號ハ非訟事件手續法ニ依リ申請スヘキ謄本又ハ抄本ノ手数料ニ關スル件ナリ

船舶法施行細則

第一章 總則

第一條 本則ニ於テ船舶ノ種類ト稱スルハ汽船、帆船ノ別ヲ謂フ
機械力ヲ以テ運航スル裝置ヲ有スル船舶ハ蒸氣ヲ用ユルト否トニ
拘ハラス之ヲ汽船ト看做ス

主トシテ帆ヲ以テ運航スル船舶ハ機關ヲ有スルモノト雖モ之ヲ帆
船ト看做ス

第二條 浚渫船ハ推進器ヲ有セサレハ之ヲ船舶ト看做サス

第三條 船籍港ハ各市町村ノ名稱ニ依ル但市制、町村制ヲ施行セサ
ル地方ニ在リテハ市町村ニ準スヘキ區畫ノ名稱ニ依ル

第四條 左ノ場合ニ於テハ船舶國籍證書又ハ假船舶國籍證書ノ交付
前ト雖モ最寄管海官廳ノ認可ヲ受ケ船舶ヲ航行セシムルコトヲ
得

一 試運轉ノトキ

二 積量ノ測度ヲ受ケントスルトキ

三 正當ノ事由アルトキ

第五條 左ノ場合ニ於テハ船舶國籍證書又ハ假船舶國籍證書ノ交付

前ト雖モ船舶ニ國旗ヲ掲クルコトヲ得

一 祝日、大祭日但外國ノ祝祭日ニ付テハ其國ノ港ニ碇泊スル場
合ニ限ル

二 前號ノ外祝意又ハ敬意ヲ表スルトキ

三 進水ノトキ

四 前條ノ規定ニ依リ船舶ヲ航行セシムルトキ

第六條 船舶ノ積量若クハ登録ニ關スル事項又ハ其標示ヲ照査スル
爲メ必要アリト認ムルトキハ検査官吏ハ何時ニテモ船舶ニ臨檢ス
ルコトヲ得

第七條 本則ノ規定ニ依リ管海官廳ニ書類ヲ差出スヘキ場合ニ於テ
代理人ヲ使用スルトキハ其權限ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第二章 積量ノ測度

第八條 船舶法第四條第一項ノ規定ニ依リ船舶ノ積量ノ測度ヲ申請

セントスル者ハ第一號書式ノ申請書ヲ管海官廳ニ差出スヘシ
前項ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

- 一 製造ニ依リ船舶ヲ取得シタル場合又ハ製造後未タ積量ノ測度ヲ申請セサル船舶ヲ取得シタル場合ニ在リテハ造船者ニ於テ製造地進水ノ年月日ヲ證スル書面及機關ヲ有スル船舶ニ在リテハ汽機、汽罐ノ製造者ニ於テ汽機、汽罐製造ノ年月日ヲ證スル書面
- 二 所有權ノ取得、持分ノ移轉、所有者ノ國籍取得ニ依リ又ハ商專會社其他ノ法人ニシテ船舶法第一條第一項第三號第四號若クハ第二項ニ掲ケタル條件ノ具備ニ依リ船舶ノ國籍ヲ取得シタル場合ニ在リテハ前號ニ掲ケタル事項ノ外造船者、汽機及汽罐ノ製造者ノ氏名又ハ名稱並船舶ノ原名ヲ證スル書面

船舶法第二十條ニ掲ケタル船舶ノ積量總噸數二十噸以上又ハ積石數二百石以上ト爲リタル場合ニ在リテハ地方長官ニ於テ前項第二號ニ掲ケタル事項ヲ證スル書面ヲ申請書ニ添附スヘシ

第九條 積量ノ測度ハ船舶検査執行地ニ於テ之ヲ行フ但船舶ノ構造、航路ノ狀況又ハ其他ノ事由ニ依リ船舶ヲ検査執行地マテ航行

セシムルコト能ハサル場合ニ於テ管海官廳ノ認可ヲ得タルトキハ此限ニ在ラス

第十條 積量ノ測度ヲ申請スル者ハ測度ヲ受クルニ必要ナル準備ヲ爲スヘシ

第十一條 第八條及前條ノ規定ハ船舶法第四條第三項ノ規定ニ依リ外國ニ於テ船舶ノ積量ノ測度ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テ積量ノ測度ヲ行フ場所ハ當該官廳之ヲ指定ス
第十二條 管海官廳ニ於テ積量ノ測度ノ申請ヲ受ケタルトキハ検査官吏ヲシテ船舶ニ臨檢シ第二號書式ノ船舶件名書ヲ調製セシムヘシ

管海官廳ハ船舶件名書ノ謄本ヲ申請者ニ交付シ同時ニ第八條第二項及第三項ニ依リ差出シタル證書ヲ還付スヘシ

第十三條 前條ノ規定ハ第十一條ノ場合ニ之ヲ準用ス
前項ノ場合ニ於テハ當該官廳ハ遲滯ナク船籍港ヲ管轄スル管海官廳ニ關係書類ヲ送付スヘシ

第十四條 第九條但書ノ場合ニ於テ船舶ノ所在地當該管海官廳ノ管

轄區域外ナルトキハ該官廳ハ其所在地ヲ管轄スル管海官廳ニ第十

二條ニ規定スル事務ヲ囑託スルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ囑託ヲ受ケタル管海官廳ハ囑託ヲ爲シタル管海

官廳ニ船舶件名書ヲ送付スヘシ
第十五條 船舶法第九條ノ規定ニ依リ船舶ノ積量ノ改測ヲ申請セン
トスル者ハ申請書ニ改測ヲ受ケントスル部分及測度ノ爲メ検査官
吏ノ臨檢ヲ受ケントスル場所ヲ記載シ船籍港ヲ管轄スル管海官廳
ニ之ヲ差出スヘシ

第九條第十條第十二條及前條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
第十六條 國籍ヲ取得スル目的ヲ以テ内國ニ於テ製造スル船舶ニ付
テハ其竣工前ト雖モ最寄管海官廳ニ積量ノ部分測度ヲ申請スルコ
トヲ得但量噸甲板下部ノ噸數及甲板間ノ噸數ヲ測度スルコトヲ得
ルニ至ラサルトキハ此限ニ在ラス

第十條及第十二條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
第八條ノ申請ヲ爲ス者前項ノ規定ニ依リ船舶件名書ノ謄本ヲ受ケ
タルトキハ之ヲ申請書ニ添附スヘシ

第三章 船舶ノ登録

第十七條 船舶法第五條第一項ノ規定ニ依リ船舶ノ登録ヲ爲スニハ
申請書ニ登記ノ謄本ヲ添ヘ之ヲ管海官廳ニ差出スヘシ
管海官廳ハ關係書類ヲ調査シ汽船及機關ヲ有スル帆船ニ在リテハ
左ノ事項ヲ船舶原簿ニ登録ス

- 一 番號
- 二 信號符字
- 三 種類
- 四 名稱
- 五 船籍港
- 六 甲板ノ層數及種類
- 七 外板ノ材料
- 八 船骨ノ材料
- 九 檣ノ數
- 十 綱具ノ裝置
- 十一 船首ノ形狀

- 十二 船尾ノ形狀
- 十三 造船規程ニ定ムル方法ニ依リテ測リタル長
- 十四 船舶積量測度方法ニ依ル量噸甲板下ノ長
- 十五 造船規程ニ定ムル方法ニ依リテ測リタル幅
- 十六 船體最廣部ニ於テ内張板ノ内面ヨリ内面マテノ幅
- 十七 造船規程ニ定ムル方法ニ依リテ測リタル深
- 十八 船舶積量測度方法ニ依ル量噸甲板下ノ長ノ中央ニ於テ該甲板ノ下面ヨリ船底内張板ノ上面マテノ深
- 十九 支水隔壁ノ數
- 二十 二重底ノ位置及容量
- 二十一 最大喫水
- 二十二 量噸甲板下部ノ噸數
- 二十三 量噸甲板上部ノ噸數
- 甲板間ノ噸數
- 船首樓ノ噸數
- 船橋樓ノ噸數

船尾樓ノ噸數
圓室ノ噸數
其他蔽圍セル場所ノ噸數

- 二十四 總噸數
- 二十五 登簿噸數
- 二十六 船員常用室ノ噸數
- 二十七 機關室ノ噸數
- 二十八 汽機ノ種類及數
- 二十九 汽罐ノ種類及數
- 三十 汽罐ノ材料
- 三十一 汽笛ノ數
- 三十二 汽笛ノ徑
- 三十三 汽笛ノ行長
- 三十四 推進器ノ種類及數
- 三十五 公稱馬力
- 三十六 製造地

- 三十七 進水ノ年月日
- 三十八 汽機製造ノ年月日
- 三十九 汽罐製造ノ年月日
- 四十 汽機製造者ノ氏名又ハ名稱
- 四十一 汽罐製造者ノ氏名又ハ名稱
- 四十二 造船者ノ氏名又ハ名稱
- 四十三 原名
- 四十四 所有者ノ氏名又ハ名稱及住所並共有者ナルトキハ其持分
帆船ニ在リテハ前項第一號乃至第二十六號第三十六號第三十七號
第四十二號乃至第四十四號ノ事項ヲ登録ス
- 石數ヲ以テ積量ヲ表示スル船舶ニ在リテハ第二項第一號第三號乃至
第五號第七號乃至第九號第三十六號第三十七號第四十二號乃至
第四十四號ノ事項及左ノ事項ヲ登録ス
- 一 船首ノ内面ヨリ船尾ノ内面ニ至ル船底水平ノ長
- 二 船體最廣部ニ於テ外板ノ内面ヨリ内面マテノ幅
- 三 腰當梁ノ中央ニ於テ其上面ヨリ航ノ上面マテノ深

四 積石數

第二項第十四號第十六號第十八號及前項ノ長、幅及深ハ曲尺ヲ以テ測リタル尺度ヲ登録ス

第十八條 船舶ノ名稱ヲ變更セントスル者ハ其事由ヲ記載シタル申請書ヲ管海官廳ニ差出スヘシ

第十九條 管海官廳ニ於テ船舶ノ名稱ノ變更ヲ許可スルハ左ノ場合ニ限ル

- 一 所有者ノ氏名、名稱又ハ之ト同一ト認ムヘキ名稱ヲ有スル船舶ヲ取得シタルトキ
- 二 船舶ノ名稱ニ番號ヲ冠附シ又ハ冠附シタル番號ヲ變更若クハ削除スルトキ
- 三 所有者ニ於テ自己ノ行爲ニ因ルニアラスシテ船舶ノ名稱ノ爲メニ著シキ不便ヲ受クルトキ

第二十條 甲管海官廳ノ管轄區域内ニ船籍港ヲ定メタル船舶ノ船籍港ヲ乙管海官廳ノ管轄區域内ニ變更スル場合ニハ甲管海官廳ニ變更ノ登録ヲ申請スヘシ

前項ノ場合ニ於テ甲管海官廳ハ其船舶ニ關スル船舶原簿ノ謄本及其附屬書類ヲ乙管海官廳ニ移送シ該船舶ノ登録用紙ヲ閉鎖ス

船舶原簿ノ謄本ニハ現存セル登録ノミヲ謄寫ス
乙管海官廳ハ第二項ノ規定ニ依リ移送ヲ受ケタル謄本ニ依リ其船舶原簿ニ登録ヲ移ス

第二十一條 船舶港甲管海官廳ノ管轄區域内ヨリ乙管海官廳ノ管轄區域内ニ轉屬シタルトキハ管海官廳ハ申請ヲ待タス前條第二項乃至第四項ノ手續ヲ爲ス

第二十二條 第十七條第二項第六號乃至第十二號第十九號乃至第二十一號第二十八號乃至第三十五號ノ事項ニ變更ヲ生シタル場合ニ於テ變更ノ登録ヲ爲サントスル者ハ變更ニ係ル新舊事項ヲ申請書ニ列記シ船舶港ヲ管轄スル管海官廳ニ之ヲ差出スヘシ

第十二條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條 船舶港ヲ管轄スル管海官廳ノ管轄區域外ニ船舶ノ所在スル場合ニ於テ前條ノ登録ヲ爲サントスルトキハ船舶所在地ヲ管轄スル管海官廳ニ臨檢ヲ申請シ臨檢報告書ノ交付ヲ受クルコトヲ

得

前項ノ臨檢報告書ハ前條第一項ノ申請書ニ之ヲ添附スヘシ

第二十四條 第十七條第二項第十三號乃至第十八號第二十二號乃至第二十七號又ハ第四項各號ノ事項ニ變更ヲ生シタル場合ニ於テ變更ノ登録ヲ爲サントスル者ハ第十五條ノ申請ト同時ニ之ヲ爲スヘシ

第二十五條 船舶所有者ノ變更アリタルトキハ新所有者ハ申請書ニ變更ノ事實ヲ證スル登記ノ謄本、抄本又ハ登記濟證ヲ添附シテ變更ノ登録ヲ申請スヘシ

第二十六條 行政區畫、土地ノ名稱又ハ地番號ノ變更アリタルトキハ船舶原簿ニ記載シタル區畫、名稱又ハ番號ハ當然之ヲ變更シタルモノト看做ス但第二十一條ノ場合ハ此限ニ在ラス

第二十七條 船舶法第十四條ノ規定ニ依リ抹消ノ登録ヲ爲サントスル者ハ申請書ニ登記濟證ヲ添へ船舶港ヲ管轄スル管海官廳ニ之ヲ差出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ管海官廳ハ其船舶ノ登録用紙ヲ閉鎖ス
第二十八條 船舶所有者ニ於テ登録ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見

シタルトキハ其旨ヲ疏明シ登録ノ訂正ヲ申請スヘシ
管海官廳ニ於テ登録ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ
其旨ヲ船舶所有者ニ通知スヘシ

第二十九條 何人ト雖モ手数料ヲ納付シテ船舶原簿ノ謄本又ハ抄本
ノ交付ヲ申請シ又利害ノ關係アル部分ニ限リ船舶原簿ノ閱覽ヲ請
求スルコトヲ得

手数料ノ外郵送料ヲ納付シテ船舶原簿ノ謄本又ハ抄本ノ送付ヲ請
求スルコトヲ得

第四章 船舶國籍證書及假船舶國籍證書

第三十條 管海官廳ニ於テ第十七條ニ依リ船舶ノ登録ヲ爲シタルト
キハ第三號書式ノ船舶國籍證書ヲ申請者ニ交付ス

第三十一條 船舶國籍證書ニ記載シタル事項ノ變更ニ依リ該證書ノ
書換ヲ申請セントスル者ハ變更ノ登録ノ申請ト同時ニ之ヲ爲スヘ
シ

第三十二條 第二十六條ノ規定ハ船舶國籍證書ニ記載シタル行政區
畫、土地ノ名稱又ハ地番號ノ變更アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十三條 船舶國籍證書ノ毀損ニ依リ該證書ノ書換ヲ申請セント
スル者ハ申請書ニ其事由ヲ記載シ船舶港ヲ管轄スル管海官廳ニ之
ヲ差出スヘシ船舶國籍證書ノ滅失ニ依リ更ニ之ヲ請受ケントスル
トキ亦同シ

第三十四條 第三十一條又ハ前條ノ申請ヲ受ケタル管海官廳ハ船舶
國籍證書ヲ調製シ之ヲ申請者ニ交付ス但第二十條第一項ノ場合ニ
於テハ乙管海官廳之ヲ交付ス

第三十五條 船舶國籍證書ノ書換ヲ申請シタル場合ニ於テ其交付ア
リタルトキハ遲滞ナク舊證書ヲ返還スヘシ

第三十六條 船舶法第十三條ノ規定ニ依リ假船舶國籍證書ヲ請受ケ
ントスル船長ハ申請書ニ其事由ヲ記載シ假船舶國籍證書ニ記載ス
ヘキ事項ヲ證明スルニ必要ナル書類アルトキハ其書類ヲ添へ當該
管海官廳ニ差出スヘシ

船舶國籍證書ノ毀損ニ依リ前項ノ申請ヲ爲シタル場合ニ於テ假船
舶國籍證書ノ交付アリタルトキハ遲滞ナク船舶國籍證書ヲ返還ス
ヘシ

假船舶國籍證書ノ様式ハ第四號書式ニ依ル

第三十七條 船舶法第十五條又ハ第十六條ノ規定ニ依リ假船舶國籍證書ヲ請受ケントスル者ハ第五號書式ノ申請書ニ所有權ノ取得ヲ證スル書面ヲ添ヘ當該管海官廳ニ差出スヘシ

第三十八條 假船舶國籍證書ノ有効期間ハ其船舶ノ船籍港ニ回航セントスル場合ニ於テハ到達スヘキ期間ヲ標準トシ其他ノ場合ニ於テハ船舶國籍證書ヲ請受クルコトヲ得ル期間ヲ標準トシ船舶法第十七條ニ定ムル期間内ニ於テ當該管海官廳之ヲ定ム

第三十九條 假船舶國籍證書ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ申請書ニ新舊事項ヲ列記シ最寄管海官廳ニ之ヲ差出スヘシ

第三十二條乃至第三十五條ノ規定ハ假船舶國籍證書ニ之ヲ準用ス
第四十條 假船舶國籍證書ハ其效力ヲ失ヒタルトキ又ハ船舶國籍證書ヲ請受ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ最寄管海官廳ニ返還スヘシ
第四十一條 本章ノ規定ニ依リ船舶國籍證書又ハ假船舶國籍證書ヲ返還スヘキ場合ニ於テ之ヲ返還スルコト能ハサルトキハ其事由ヲ疏明スヘシ

船舶國籍證書又ハ假船舶國籍證書ノ滅失シタルトキ又ハ之ヲ返還スヘキ場合ニ於テ返還セサルトキハ管海官廳ハ其無効ナルコトヲ官報ニ公告ス

第四十二條 第二十八條ノ規定ハ船舶國籍證書又ハ假船舶國籍證書ニ記載シタル事項ニ錯誤又ハ遺漏アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第五章 國旗及船舶ノ標示

第四十三條 船舶ハ左ノ場合ニ於テ國旗ヲ後部ニ掲クヘシ

- 一 帝國軍艦ヨリ要求セラレタルトキ
- 二 帝國ノ燈臺又ハ海岸望樓ヨリ要求セラレタルトキ
- 三 外國ノ港ヲ出入スルトキ
- 四 外國貿易船帝國ノ港ヲ出入スルトキ
- 五 法令ニ別段ノ定アルトキ

第四十四條 船舶ニ標示スヘキ事項及其方法ハ左ノ如シ但石數ヲ以テ積量ヲ表示スル船舶ニ付テハ第四十五條ノ規定ニ依ル

- 一 船首兩舷ノ外部ニ船舶ノ名稱、船尾外部ノ見易キ所ニ船舶及船籍港ノ名稱ヲ四吋以上ノ國字及羅馬字ヲ以テ記スルコト

二 中央ノ船梁ニ船舶ノ番號、總噸數及登簿噸數ヲ彫刻シ又ハ其番號及噸數ヲ彫刻シタル板ヲ釘著スルコト

三 船首材及船尾材、船尾材ナキトキハ舵柱ノ外部兩側面へ喫水ヲ示ス爲メ龍骨ノ下面、副龍骨ヲ有スルトキハ其下面直線ヨリ最大喫水ニ至ルマテ一呎毎ニ六吋ノ羅馬數字又ハ亞刺比亞數字ヲ以テ其尺度ヲ記シ數字ノ下端ハ其數字ノ表示セル喫水線ト一致スルコト

第四十五條 石數ヲ以テ積量ヲ表示スル船舶ハ前條ニ定メタル方法ニ依リ船尾ニ船舶及船籍港ノ名稱、船梁ニ船舶ノ番號及積石數ヲ標示スヘシ

第四十六條 船舶ノ標示ハ明瞭ニシテ久ニ耐ユル方法ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第四十七條 標示スヘキ事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滯ナク其標示ヲ改ムヘシ

第六章 登録税、手数料、旅費及日當

第四十八條 登録税法ノ規定ニ從ヒ登録税ヲ納付スルニハ左ノ區別

ニ依リ相當ノ收入印紙ヲ貼用シタル登録税納付書ヲ登録ノ申請書ニ添ヘテ差出スヘシ

一 第十七條第一項ノ場合ニ於テハ登録税法第四條第一項第一號

二 船舶ノ名稱、船舶所有者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ共有者ノ持分ノ變更ニ依リ登録ヲ爲ス場合、第二十二條又ハ第二十四條ノ場合ニ於テハ登録税法第四條第一項第四號

三 第二十七條ノ場合ニ於テハ登録税法第四條第一項第三號

四 船籍港變更ノ場合ニ於テハ登録税法第四條第一項第二號

第四十九條 登録税法第四條第一項第四號ニ付テハ第十七條第二項各號又ハ第四項各號ノ事項ノ變更ヲ以テ每一箇トス

第五十條 登録税納付書ニハ船舶ノ名稱、積量及稅金額ヲ記載シ登録税法第四條第一項第四號ノ場合ニ於テハ變更 箇數ヲモ記載スヘシ

第五十一條 第二十九條ノ手数料ハ左ノ金額ニ相當スル收入印紙ヲ申請書ニ貼用シテ之ヲ納付スヘシ

一 謄本ノ交付 一枚ニ付金二十錢

二 抄本ノ交付

一枚ニ付金二十錢

三 船舶原簿ノ閱覽

金二十錢

第五十二條 登録稅納付書又ハ前條ノ申請書ニ貼用シタル收入印紙ハ管海官廳ニ於テ消印ヲ爲スヘキモノトス但申請者ニ於テ自己ノ便宜上消印ヲ爲スハ妨ナシ

第五十三條 船舶所有者ノ申請ニ依リ船舶検査執行地以外ニ検査官吏ノ出張シタルトキハ船舶所有者ハ成規ノ旅費及日當ヲ當該管海官廳ニ納付スヘシ

第七章 罰則

第五十四條 本則ノ規定ニ依リ船舶國籍證書又ハ假船舶國籍證書ヲ返還スヘキ場合ニ於テ正當ノ事由ナクシテ其義務ヲ怠リタルトキハ船舶所有者ヲ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

第五十五條 本則ハ船舶法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五十六條 明治二十六年^二月^三日^三遞信省令第三號、同年^三月^三日^三遞信省令第六

號失踪船取扱規則、同年^四月^四日^四遞信省告示第八十五號及明治二十九年^四月^四日^四遞信省令第二號登簿船免狀取扱規則ハ本則施行ノ日ヨリ廢止ス

第五十七條 船舶法施行ノ際登簿船免狀又ハ船鑑札ヲ受有スル船舶

ニシテ船舶法ノ規定ニ依リ登録ヲ爲シ且船舶國籍證書ヲ請受クヘキモノノ所有者ハ登簿噸數十五噸以上又ハ積石數百五十石以上ノ船舶ニ付テハ船舶法施行ノ後始テ定期検査又ハ特別検査ヲ申請スルトキ當該検査官廳ニ、登簿噸數十五噸未滿ノ汽船及検査ヲ要セサル船舶ニ付テハ船舶法施行ノ日ヨリ起算シ二年内ニ船籍港ヲ管轄スル管海官廳ニ積量ノ測度ヲ申請スヘシ

前項ノ船舶ニシテ登簿船免狀又ハ船鑑札ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ船舶所有者ハ前項ノ規定ニ拘ハラズ遲滞ナク船籍港ヲ管轄スル管海官廳ニ前項ノ申請ヲ爲スヘシ

第五十八條 第十條及第十二條ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス

前項ノ規定ニ依リ船舶ニ臨檢シタル検査官吏ハ積量ノ測度ノ一部ヲ省略スルコトヲ得

第五十九條 前條ノ規定ニ依リ積量ノ測度ヲ受ケタル船舶ノ所有者

ハ遲滞ナク船籍港ヲ管轄スル管海官廳ニ登録及船舶國籍證書ノ交付ヲ申請スヘシ
前項ノ申請ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ差出シテ之ヲ爲スヘシ

一 船舶ノ番號、名稱及積量
二 船籍港

三 船舶共有者ニ在リテハ各共有者ノ住所、氏名又ハ名稱及持分
第六十條 前條ノ申請書ニハ左ニ掲クル書面ヲ添附スヘシ

一 登記ノ謄本
二 機關ヲ有スル船舶ニ在リテハ汽機及汽罐ノ製造者ニ於テ其製造ノ年月日ヲ證スル書面

三 船鑑札ヲ受有スル船舶ニ在リテハ當該地方官廳ニ於テ原名、製造地、進水ノ年月日及造船者ノ氏名又ハ名稱ヲ證スル書面

第六十一條 管海官廳ニ於テ第五十九條ノ申請ニ依リ登録ヲ爲ストキハ登録簿船免狀又ハ船鑑札ニ記載シタル製造年月ヲ以テ進水ノ年月日ト看做ス

第六十二條 登録簿船免狀ヲ受有スル船舶ノ所有者船舶國籍證書ヲ請受ケタルトキハ遲滞ナク該免狀ヲ最寄管海官廳ニ返還スヘシ

船鑑札ヲ受有スル船舶ノ所有者船舶國籍證書ヲ請受ケタルトキハ遲滞ナク該鑑札ヲ原地方官廳ニ返還スヘシ

第六十三條 第五十四條ノ罰則ハ前條ノ義務ヲ怠リタル船舶所有者ニ之ヲ適用ス

第六十四條 船舶法施行ノ際登録簿船免狀又ハ船鑑札ヲ受有スル船舶ハ登録ヲ了ルマテ第四十四條又ハ第四十五條ノ標示ヲ爲サ、ルコトヲ得

第六十五條 第四十條及第五十四條ノ規定ハ船舶法施行ノ際受有スル假免狀ニ之ヲ準用ス

(第一號書式)

積量測度申請書

汽船何丸
帆船何丸

一 船籍港

何市町村(何府縣何國何郡)

二 積量

總噸數何噸又ハ積石數何石

船舶法施行細則

- 三 造船者ノ氏名又ハ名稱 何某又ハ何會社(何府縣何國何郡何市町村)
 - 四 製造地 何府縣何國何郡何市町村
 - 五 進水ノ年月日 明治又ハ西曆何年何月何日
 - 六 汽機製造者ノ氏名又ハ名稱 何某又ハ何會社
 - 七 汽機製造ノ年月日 明治又ハ西曆何年何月何日
 - 八 汽機製造者ノ氏名又ハ名稱 何某又ハ何會社
 - 九 汽機製造ノ年月日 明治又ハ西曆何年何月何日
 - 十 原名 何々
 - 十一 所有者ノ氏名又ハ名稱及住所 何府縣何國何郡何市町村何番地何某又ハ何會社
並共有者ナルトキハ其持分
 - 十二 船舶管理人ノ住所氏名 何府縣何國何郡何市町村何某
 - 十三 測度ヲ受ケントスル場所 某所
- 右者今般新造致シ(又ハ何國人何某ヨリ買受ケ等)貴管内ニ船籍港ヲ定メ候ニ付積量測度相成度關係書類何通相添此段及申請候也

明治 年 月 日

住所

何 某印

(管海官廳名)

御中

(備考)

- 一 船名、郡市町村名、氏名及名稱ニハ振假名ヲ附記シ外國ノ名稱ナルトキハ外國文字ヲ附記スヘシ
- 二 原名ト稱スルハ國籍取得前ニ於ケル最近ノ船名ヲ謂フ
- 三 前記件名中船舶ノ種類ニ依リ事項ナキモノハ之ヲ省略スヘシ

(第二號書式)

船舶件名書

汽船何丸

- 一 甲板ノ層數及種類 何層、重(輕又ハ覆)甲板
- 二 外板ノ材料 鋼、鐵又ハ木
- 三 船骨ノ材料 鋼、鐵又ハ木
- 四 積ノ數 何本
- 五 網具ノ裝置 「シツプ」「パーク」「パーケンダイン」「ブリツグ」「ブリガンダイン」「スクーナー」「カッター」「スループ」等

船舶法施行細則

- 六 船首ノ形状 曲形、斜形又ハ直形
- 七 船尾ノ形状 圓形、橢圓形又ハ方形
- 八 造船規程ニ定ムル方法ニ依リテ測リタル長 何呎何時
- 九 船舶積量測度方法ニ依ル量噸甲板下ノ長 何尺何寸何分
- 十 造船規程ニ定ムル方法ニ依リテ測リタル幅 何呎何時
- 十一 船體最廣部ニ於テ内張板ノ内面ヨリ内面マテノ幅 何尺何寸何分
- 十二 造船規程ニ定ムル方法ニ依リテ測リタル深 何呎何時
- 十三 船舶積量測度方法ニ依ル噸噸甲板下ノ長ノ中央ニ於テ該甲板ノ下面ヨリ船底内張板ノ上面マテノ深 何尺何寸何分
- 十四 支水隔壁ノ數 幾何
- 十五 二重底ノ位置及容量 全通何噸又ハ船首何噸船、尾何噸、前輪何噸、後輪何噸等

- 十六 最大喫水 何呎何時
- 十七 總噸數 何噸
- 十八 登簿噸數 何噸
- 十九 汽機ノ種類及數 聯成、聯成冷汽、重聯成、三聯成等 何箇
- 二十 汽罐ノ種類及數 筒形、橢圓形、「ベルビーユ」水管式等 何箇
- 二十一 汽罐ノ材料 鐵又ハ鋼
- 二十二 汽筒ノ數 何箇
- 二十三 汽筒ノ徑 高壓何時中壓何時低壓何時
- 二十四 汽筒ノ行長 何時
- 二十五 推進器ノ種類及數 外車、螺旋推進器等 何箇
- 二十六 公稱馬力 幾何

右明治何年何月何日某所ニ於テ臨檢シタル處前記ノ通相違無之候也

所屬官廳

明治 年 月 日

官 氏 名 印

(備考) 本書式中ノ件名ハ汽船ヲ標準トシテ列舉シタルモノナルヲ以テ帆船ニ付テハ第十七條第三項乃至第五項ノ規定ニ依リ變換又ハ省略スヘシ

(第三號書式) 甲汽船ニ用ユル分

(輪廓鑑鏡)

番號	種類	船名	船籍港	製造地	造船者	進水年月日	甲板層數
尺度		船舶積量測度方法ニ依ル量噸甲板 下ノ長…………… 船體最廣部ニ於テ内張板ノ内面ヨ リ内面マテノ幅…………… 船舶積量測度方法ニ依ル量噸甲板 下ノ長ノ中央ニ於テ該甲板ノ下面 ヨリ船底内張板ノ上面マテノ深……………					
噸數		量噸甲板下部ノ噸數…………… 量噸甲板上部ノ噸數…………… 甲板間ノ噸數……………					
機關		汽機ノ種 汽機ノ數 汽機製造 年月日 汽機製造 年月日 汽機製造 年月日					
有		所					



籍 證 書

外板ノ材料	船骨ノ材料	船尾ノ形狀	船首ノ形狀	網具ノ裝置	橋ノ數	圓室ノ噸數	其他蔽圍セル場所ノ噸數	總噸數	登簿噸數	船員常用室ノ噸數	機關室ノ噸數
前記ノ事項ハ何レモ正確ニシテ本船ハ日本帝國ノ國籍ヲ有スルコトヲ證明ス 明治 年 月 日 日本帝國 管海官廳名印											

(第二號書式) 乙帆船ニ用ユル分

(輪廓鑑鏡)

番號	種類	甲板ノ總數	外板ノ材料	積
量噸甲板下部ノ噸數…………… 量噸甲板上部ノ噸數…………… 甲板間ノ噸數……………				

豎一尺一寸五分
橫一尺

船舶法施行細則



船 舶 國 籍 證 書

前記ノ事項ハ何レモ正確ニシテ本船ハ日本帝國ノ國籍ヲ有スルコトヲ證明ス	尺 度	進水ノ年月日	造船者	製造地	船籍港	船名
	船舶積量測定方法ニ依ル最噸甲板下ノ長…… 船體最廣部ニ於テ内張板ノ内面ヨリ内面マテノ幅…… 船舶積量測定方法ニ依ル最噸甲板下ノ長ノ中 央ニ於テ該甲板ノ下面ヨリ船底内張板ノ上面 マテノ深……	船尾ノ形狀	船首ノ形狀	網具ノ裝置	橋ノ數	船骨ノ材料
明治 年 月 日	量					
日本帝國 管海官廳名印	船首樓ノ噸數…………… 船橋樓ノ噸數…………… 船尾樓ノ噸數…………… 圓室ノ噸數…………… 其他蔽圍セル場所ノ噸數…………… 總噸數…………… 登簿噸數…………… 船員常用室ノ噸數……………					

五二〇

(第三號書式)丙石數ヲ以テ積量ヲ表示スル船舶ニ用ユル分

堅九寸
横六寸



船 舶 國 籍 證 書

船首ノ内面ヨリ船尾ノ内面ニ至ル船底水平ノ長…… 船體最廣部ニ於テ外板ノ内面ヨリ内面マテノ幅…… 腰當梁ノ中央ニ於テ其上面ヨリ航ノ上面マテノ深…… 積石數……………	船籍港	船名	種類	號番	
	製造地	造船者	進水ノ年月日	外板ノ材料	船骨ノ材料
者 有 共 ハ 又 者 有 所					

船舶法施行細則

五二一

書

前記ノ事項ハ何レモ正確ニシテ本船ハ日本帝國ノ國籍ヲ有スルコトヲ證明ス

日本帝國

管海官廳名印

明治 年 月 日

(第四號書式) 甲汽船ニ用ユル分

豎一尺一寸五分
横一尺

(輪廓鑄鎖)

種類	船名	船籍港	製造地	造船者	進水年月日	甲板層數
尺 度	船舶積量測定方法ニ依ル量噸甲板下ノ長……………					
	船體最廣部ニ於テ内張板ノ内面ヨリ内面マテノ幅……………					
	船舶積量測定方法ニ依ル量噸甲板下ノ長ノ中央ニ於テ該甲板ノ下面ヨリ船底内張板ノ上面マテノ深……………					
噸 數	量噸甲板下部ノ噸數……………					
	量噸甲板上部ノ噸數……………					
機 關	汽機ノ種及數	汽機ノ種及數	汽機ノ種及數	汽機ノ種及數	汽機ノ種及數	汽機ノ種及數
	汽機製造年月日	汽機製造年月日	汽機製造年月日	汽機製造年月日	汽機製造年月日	汽機製造年月日
有 所	者 有 共 ハ 又 者					

鐵 鑄
章ノ

國 籍 證 書

外形板ノ材料	船骨ノ材料	橋ノ數	網具ノ裝置	船首ノ形狀	船尾ノ形狀
甲板間ノ噸數……………	船首樓ノ噸數……………	船尾樓ノ噸數……………	圓室ノ噸數……………	其他蔽圍セル場所ノ噸數……………	總噸數……………
	登簿噸數……………	船員常用室ノ噸數……………	機関室ノ噸數……………		
者 有 共 ハ 又 者					

本船ハ日本帝國ノ國籍ヲ有スルコトヲ證明ス此證書ハ來ル明治 年 月 日マテ效力ヲ有スト雖モ其以前ニ於テ船籍港ニ到着シタルトキハ直ニ其效力ヲ失フ

明治 年 月 日

日本帝國
管海官廳名印

(第四號書式) 乙帆船ニ用ユル分

豎一尺一寸五分
横一尺

(輪廓鑄鎖)

種類	甲板層數	量噸甲板下部ノ噸數……………	量噸甲板上部ノ噸數……………

船舶法施行細則

紋
章ノ

假船船舶國籍證書

度 尺	進水ノ年月日	造船者	製造地	船籍港	船名	外部ノ材料	船骨ノ材料	橋ノ數	網具ノ裝置	船首ノ形狀	船尾ノ形狀	積	量	
						甲板ノ材料	船骨ノ材料	橋ノ數	網具ノ裝置	船首ノ形狀	船尾ノ形狀			甲板間ノ噸數
船舶積量測定方法ニ依ル量噸甲板下ノ長…… 船體最廣部ニ於テ内張板ノ内面ヨリ内面マ…… テノ幅…… 船舶積量測定方法ニ依ル量噸甲板下ノ長ノ 中央ニ於テ該甲板ノ下面ヨリ船底内張板ノ 上面マテノ深……													者有共ハ又者有所	
本船ハ日本帝國ノ國籍ヲ有スルコトヲ證明ス此證書ハ來ル明治 年 月 日マテ效 力ヲ有スト雖モ其以前ニ於テ船籍港ニ到着シタルトキハ直ニ其效力ヲ失フ 日本帝國													者有共ハ又者有所	

五二四

明治 年 月 日

管海官廳名印

(第四號書式)丙石數ヲ以テ積量ヲ表示スル船舶ニ用ユル分

竪九寸
横六寸

(輪廓船)

紋
章ノ

假船船舶國籍證書

度尺	船籍港	船名	種類	製造地	造船者	進水ノ年月日	外部ノ材料	船骨ノ材料	橋ノ數	積	量
				製造地	造船者	進水ノ年月日	外部ノ材料	船骨ノ材料	橋ノ數		
船舶積量測定方法ニ依ル量噸甲板下ノ長…… 船體最廣部ニ於テ内張板ノ内面ヨリ内面マ…… テノ幅…… 船舶積量測定方法ニ依ル量噸甲板下ノ長ノ 中央ニ於テ該甲板ノ下面ヨリ船底内張板ノ 上面マテノ深……											
本船ハ日本帝國ノ國籍ヲ有スルコトヲ證明ス此證書ハ來ル明治 年 月 日マテ效 力ヲ有スト雖モ其以前ニ於テ船籍港ニ到着シタルトキハ直ニ其效力ヲ失フ 日本帝國											

登記法施行細則

五二五

及 腰當梁ノ中央ニ於テ其上面ヨリ航ノ上面マテノ
積深.....
積石數.....

者

本船ハ日本帝國ノ國籍ヲ有スルコトヲ證明ス此證書ハ來ル明治 年 月 日マテ效
力ヲ有スト雖モ其以前ニ於テ船籍港ニ到着シタルトキハ直ニ其效力ヲ失フ

日本帝國

明治 年 月 日

管海官廳名印

(第五號書式)

假船舶國籍證書交付申請書

汽船 何 丸

- 一 船籍港 何市町村(何府縣何國何郡)
- 二 製造地 何府縣何國何郡何市町村
- 三 造船者 何某又ハ何會社
- 四 進水ノ年月日 明治又ハ西曆何年何月何日
- 五 甲板ノ層數 何層
- 六 外板ノ材料 鋼、鐵又ハ木

七 船骨ノ材料

鋼、鐵又ハ木

八 檣ノ數

何本

九 網具ノ裝置

「シツプ」「バーク」「パークンタイン」「ブリツク」「ブリ
カンタイン」「スクーナ」「カック」「スループ」等

十 船首ノ形狀

曲形、斜形又ハ直形

十一 船尾ノ形狀

圓形、橢圓形又ハ方形

十二 船舶積量測度方法ニ依ル量噸甲板下ノ長

何尺何寸何分

十三 船體最廣部ニ於テ内張板ノ内面ヨリ内面マテノ幅

何尺何寸何分

十四 船舶積量測度方法ニ依ル量噸甲板下ノ長ノ中央ニ

於テ該甲板ノ下面ヨリ船底内張板ノ上面マテノ深

何尺何寸何分

十五 量噸甲板下部ノ噸數

何噸

十六 量噸甲板上部ノ噸數

何噸

甲板間ノ噸數

何噸

船首樓ノ噸數

何噸

- 船橋樓ノ噸數 何噸
- 船尾樓ノ噸數 何噸
- 圓室ノ噸數 何噸
- 其他蔽圍セル場所ノ噸數 何噸
- 十七 總噸數 何噸
- 十八 登簿噸數 何噸
- 十九 船員常用室ノ噸數 何噸
- 二十 機關室ノ噸數 何噸
- 二十一 汽機ノ種類及數 聯成、聯成冷汽、重聯成、三聯成等 何箇
- 二十二 汽罐ノ種類及數 笛形、橢圓形、「ヘルビーユ」水管式等 何箇
- 二十三 推進器ノ種類及數 外車、螺旋推進器等
- 二十四 汽機製造者 何某又ハ何會社
- 二十五 汽機製造ノ年月日 明治又ハ西曆何年何月何日
- 二十六 汽罐製造者 何某又ハ何會社

- 二十七 汽罐製造ノ年月日 明治又ハ西曆何年何月何日
- 二十八 船舶所有者又ハ共有者及持分 何府縣何國何郡何市町村何番地何某又ハ何會社

右者今般新造致シ(又ハ何國人何某ヨリ買受ケ等)候ニ付假船舶國籍證書交付相成度船舶法第十五條(又ハ第十六條)船舶法施行細則第三十七條ニ依リ關係書類何通相添此段及申請候也

明治 年 月 日

(管海官廳名)

御中

住所 氏 名 印

備考

本書式中ノ件名ハ汽船ヲ標準トシテ列舉シタルモノナルヲ以テ帆船ニ付テハ第四號書式ノ乙、丙ノ書式ニ記載シタル件名ニ對照シ變換又ハ省略スヘシ

遞信省令第二十四號參照

明治二十六年五月十日 遞信省令第三號ハ西洋形船登簿船免狀下付出願申航海ヲ要スルト
登記簿施行細則 五二九

キ又ハ船籍港外ニ於ケル場合ニ假免狀下付出願方及其效用期限ノ件ナリ
同年六月十日 遞信省告示第八十五號ハ西洋形船舶ノ名稱變更出願及許可方ノ件ナリ

遞信省令第二十五號 (明治三十二年六月十二日)

船員法施行細則

第一章 總則

第一條 船員法又ハ本則ノ規定ニ依ル申請ハ特ニ明文ヲ掲クル場合ヲ除ク外書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第二條 代理人ニ依リテ前條ノ申請ヲ爲ストキハ代理人ハ其權限ヲ證スル書面ヲ管海官廳ニ差出スヘシ

第三條 船員法及本則中最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ト稱スルハ最初ニ到著シタル管海官廳アル港ノ管海官廳ヲ謂フ

第四條 本則第二章乃至第四章ノ事務ハ管海官廳ニ於テ當事者ノ申請ニ依リ理由アリト認ムルトキハ休暇日ト雖モ之ヲ行フコトアルヘシ

第二章 船員手帖

第五條 船員法第三條第一項又ハ第六條ニ依リ船員手帖ノ交付ヲ申請セントスル者ハ第一號書式ノ申請書ヲ最寄管海官廳ニ差出スヘシ

船員法第三條第二項但書ノ場合ヲ除ク外申請者ハ同項ニ掲クル事項ヲ證スル戸籍吏ノ書面其他ノ公正證書ヲ申請書ニ添附スヘシ但申請書ニ其證明ヲ受ケタルトキハ此限ニアラス

第六條 未成年者ハ前條ノ規定ニ從フ外左ノ事項ヲ記載シ法定代理人ノ署名捺印シタル書面ヲ申請書ニ添附スヘシ

一 未成年者ノ氏名及本籍地

二 船員ト爲ルコトヲ許シタル旨

三 船員ト爲ルコトヲ許シタル年月日

四 法定代理人ノ本籍地及住所

第七條 船員法第七條ニ依リ船員手帖ノ訂正ヲ申請セントスル者ハ船員手帖ヲ添ヘ同法第三條第二項但書ノ場合ヲ除ク外訂正ヲ要スル事項ヲ證スル戸籍吏ノ書面其他ノ公正證書ヲ最寄管海官廳ニ差

出スヘシ

第八條 船員法第九條又ハ第十條ニ依リ船員手帖ノ交付又ハ書換ヲ申請セントスル者ハ其事由及從來受有ノ船員手帖ヲ交付シタル管海官廳ノ名稱ヲ最寄管海官廳ニ疏明シ且書換ヲ申請スル場合ニハ船員手帖ヲ差出スヘシ

第五條第二項及第六條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス但船員法第十一條但書ノ場合ハ此限ニアラス

海員雇入期間中第一項ノ申請ヲ爲スニハ書面ヲ以テシ船長之ニ連署スルコトヲ要ス

第九條 船員法第十二條又ハ第三十二條ニ依リ船員手帖ヲ返還セントスル者ハ其事由ヲ疏明シ最寄管海官廳ニ船員手帖ヲ差出スヘシ

第十條 船員手帖餘白ナキニ至リタルトキハ船員ハ現ニ受有スル船員手帖ヲ最寄管海官廳ノ檢閱ニ供シ更ニ其交付ヲ申請スヘシ

第十一條 本章ニ掲クル申請ハ日本ニ於ケル管海官廳ニ之ヲ爲スヘキモノトス

第十二條 船員手帖ノ様式ハ第二號書式ニ依ル

第三章 船長

第十三條 船長ハ海員名簿、屬具目錄、航海日誌又ハ旅客名簿ヲ船中ニ備ヘタルトキ遲滯ナク書式ニ從ヒ必要ナル事項ヲ之ニ記載スヘシ

前項ニ依リ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ船長ハ遲滯ナク之ヲ訂正スヘシ

第十四條 左ノ場合ニ於テ船長ハ事實ノ發生後遲滯ナク書式ニ從ヒ航海日誌ニ事實ノ顛末、發生ノ年月日時、場所其他關係ノ事項ヲ記載スヘシ

一 豫定ノ航路ヲ變更シタルトキ

二 人命又ハ船舶ヲ救ヒタルトキ

三 衝突其他ノ海難ニ罹リタルトキ

四 豫定セサル港ニ寄港シタルトキ

五 船舶ニ急迫ノ危険アリタル爲メ船長ニ於テ船舶ヲ去リタルトキ

六 船長ニ於テ海員ヲ懲戒シタルトキ

七 船員法第四十一條乃至第四十四條ニ依リテ處分ヲ爲シタルト

キ

八 船員法第四十五條ニ依リテ援助ヲ求メタルトキ

九 船中ニ於テ犯罪アリタルトキ

十 船中ニ於テ出生アリタルトキ

十一 船中ニ於テ死亡アリタルトキ及死亡者ノ遺産ヲ處分シタル

トキ

十二 前各號ニ掲クル場合ノ外船中ニ於テ異常ノ事變發生シタル

トキ

第十五條 船長ハ旅客乗船シタルトキハ其乗船後、下船シタルトキ

ハ其下船後遲滯ナク旅客名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載スヘシ

第十六條 本章ニ掲クル書類ヲ記載スルニ當リ文字ヲ訂正、挿入又

ハ削除シタルトキハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ船長之ニ認印シ訂正

又ハ削除シタル文字ハ之ヲ讀ミ得ヘキ様字體ヲ存スヘシ

第十三條第二項ニ依リ書類ヲ訂正シタルトキハ前項ノ規定ニ從フ

外其行端ニ訂正ヲ爲シタル年月日ヲ記載シ船長之ニ認印スヘシ

第十七條 管海官廳ニ於テ船員法第十六條第一項ニ依リ航海日誌ノ

檢閲ヲ爲シタルトキハ之ニ檢閲ヲ爲シタル旨及檢閲ノ年月日ヲ記

載シ管海官廳ノ印ヲ捺シテ之ヲ船長ニ還付ス

第十八條 船員法第十七條第一項又ハ第二項ノ報告ハ書面ヲ以テ之

ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ書面及船員法第十八條ノ報告書ニハ左ノ事項ヲ記載シ船長

之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

一 船舶ノ名稱

二 船籍港

三 船舶所有者ノ氏名又ハ名稱

四 報告スヘキ事實ノ發生シタル場所及年月日時

五 報告スヘキ事實ノ顛末

第十九條 報告書ノ認證ハ報告書ニ認證ヲ爲シタル旨及認證ノ年月

日ヲ記載シ管海官廳ノ印ヲ捺シテ之ヲ爲ス

第二十條 海員船中ニ於テ死亡シタルトキハ船長ハ遲滯ナク重立テ

タル海員二名以上ノ立會ヲ以テ其遺産ヲ取調ヘ遺産目錄ヲ作ルヘ

シ遺産目録ニハ左ノ事項ヲ記載シ船長之ニ署名捺印シ遺産ノ取調ニ立會ヒタル海員之ニ連署スルコトヲ要ス

- 一 死亡シタル海員ノ氏名、本籍地、住所及死亡ノ年月日時
- 二 遺産ノ品名及各品ノ數量、若シ金錢ナルトキハ其金額
- 三 遺産目録ヲ作りタル年月日

第二十一條 船長ハ戶籍法ノ規定ニ依リ死亡ニ關スル航海日誌ノ謄本ヲ戶籍吏、公使又ハ領事ニ送付スル場合ニ於テハ其港ノ管海官廳、其港ニ管海官廳ナキトキハ其後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ遺産目録ヲ差出スヘシ

船中ニ死亡者アリタルモ前項ニ掲クル謄本ノ送付ヲ要セサルトキハ船長ハ遺産目録ヲ作りタル港ノ管海官廳、其港ニ管海官廳ナキ場合又ハ航行中之ヲ作りタル場合ニ在リテハ其後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ遺産目録ヲ差出スヘシ

第二十二條 前條ニ依リ遺産目録ヲ受ケタルトキハ管海官廳ハ其管海官廳又ハ其指定スル管海官廳ニ遺産ヲ差出スヘキコトヲ船長ニ命スルコトヲ得

第二十三條 船長就職又ハ退職ノ認證ヲ申請セントスルトキハ就職又ハ退職及其年月日ヲ證スル書面ヲ添ヘテ船員手帖ヲ最寄管海官廳ニ提出スヘシ

就職ノ認證ヲ申請セントスル場合ニハ船長ハ前項ノ規定ニ從フ外船舶ノ種類、名稱、航路定限及積量ヲ記載シタル書面ヲ差出シ且其海技免狀ヲ管海官廳ノ檢閱ニ供スヘシ

第二十四條 第十九條ノ規定ハ前條ノ認證ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四章 海員

第二十五條 海員雇入ノ公認ヲ申請セントスルトキハ雇者ハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ雇入港ノ管海官廳、其港ニ管海官廳ナキトキハ其後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一 第三號書式ノ申請書

二 被雇者海技免狀ヲ有スルトキハ其免狀

第二十六條 海員名簿及前條第一號ノ書面ニ被雇者ノ氏名及之ニ關スル事項ヲ記載スルニハ左ノ順序ニ從フヘシ

第一 甲板部海員

第二 機關部海員

第三 事務部海員

同一ノ部ニ屬スル海員間ニ在リテハ上長ヲ先ニスヘシ

第二十七條 當事者代理人ヲシテ海員雇入ノ公認ヲ受ケシメントスルトキハ其理由ヲ記載シ且其權限ヲ證スル書面ヲ代理人ニ交付シ代理人ハ之ヲ管海官廳ニ差出スヘシ

第二十八條 海員雇入ノ公認ヲ爲スニ當リ管海官廳ニ於テ海員名簿ニ記載シタル事項ヲ當事者ニ讀聞カスニハ被雇者ニ付テハ第二十六條ノ順序ニ依リ之ヲ爲ス

當事者ヲシテ署名捺印セシムルニハ雇者ヲ先ニシ被雇者ヲ後ニス被雇者間ニ在リテハ第二十六條ノ順序ニ依ル

第二十九條 被雇者總員署名捺印シタルトキハ管海官廳ハ海員名簿ニ海員雇入ノ公認ヲ爲シタル年月日ヲ記載シ管海官廳ノ印ヲ捺シテ第二十五條第二號ノ書類ト共ニ之ヲ雇者ニ還付ス

第三十條 船員法第二十九條ニ依リ雇入ノ公認ノ認證ヲ申請セン

トスルトキハ海員ハ船員手帖ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ公認ヲ爲シタル管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

第三十一條 船員法第三十五條ニ依リ公認ノ認證ヲ申請セントスルトキハ海員ハ書式ニ從ヒ船員手帖ニ現在ノ契約條項其他ノ事項ヲ記載シ最寄管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ船長ハ現在ノ契約條項ヲ記載シタル海員名簿ヲ管海官廳ニ提出スヘシ

第三十二條 船員法第六條ニ依リ船員手帖ノ交付ヲ申請シタル者其雇入期間中船員手帖ノ交付アリタルトキハ遲滯ナク前條第一項ノ手續ヲ爲シ公認ノ認證ヲ申請スヘシ

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十三條 左ノ場合ニ於テハ海員雇止ノ公認ヲ申請スヘシ

- 一 海員ノ雇入期間滿了シタルトキ
- 二 海員死亡シタルトキ
- 三 商法第五百八十一條又ハ第五百八十三條ニ依リ海員ヲ雇止メタルトキ

四 商法第五百八十七條ニ依リ海員雇入契約終了シタルトキ

第三十四條 海員雇止ノ公認ヲ申請セントスルトキハ雇者ハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ前條ニ掲クル事實ノ發生シタル港ノ管海官廳、其港ニ管海官廳ナキトキ又ハ航行中其事實發生シタルトキハ其後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一 第四號書式ノ申請書

二 被雇者ニ關シ記載ヲ爲シタル航海日誌

第三十五條 第二十六條乃至第二十八條及第三十條ノ規定ハ海員雇止ノ公認ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十六條 被雇者總員又ハ船員法第二十七條第一項但書ノ場合ニ在リテハ出頭シタル當事者總員署名捺印シタルトキハ管海官廳ハ海員名簿ニ海員雇止ノ公認ヲ爲シタル年月日並當事者ノ一方出頭セシテ公認ヲ爲シタルトキハ其事由ヲ記載シ管海官廳ノ印ヲ捺シテ第三十四條第二號ノ書類ト共ニ之ヲ雇者ニ還付ス

第三十七條 船員法第三十條第一項ニ依リ雇止ノ公認ヲ申請スル者

ハ其申立ヲ確ムヘキ證據アルトキハ之ヲ管海官廳ニ提出スヘシ

第三十八條 管海官廳ニ於テ船員法第三十條第二項ニ依リ當事者雙方ヲ呼出シタルトキハ當事者ノ争ニ關シ各申立ヲ爲サシムヘシ此場合ニ於テ申請者ノ相手方ハ其申立ヲ確ムヘキ證據アルトキハ之ヲ提出スルコトヲ得

第三十九條 管海官廳ニ於テ前條ノ手續ヲ爲シタル後申請ヲ理由アリトスルトキハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項、船員法第三十條ニ依リ海員雇止ノ公認ヲ爲シタルコト及公認ノ年月日ヲ記載シ管海官廳ノ印ヲ捺シテ之ヲ雇者ニ還付ス

第四十條 海員雇入契約更新ノ公認ヲ申請セントスルトキハ雇者ハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ更新ヲ爲シタル港ノ管海官廳、其港ニ管海官廳ナキトキ又ハ航行中更新ヲ爲シタルトキハ其後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一 第五號書式ノ申請書

二 第二十五條第二號ノ書類

三 第三十四條第二號ノ書類

第四十一條 海員雇入契約變更ノ公認ヲ申請セントスルトキハ雇者ハ海員名簿ニ書式ニ定ムル事項ヲ記載シ左ノ書類ヲ添ヘテ變更ヲ爲シタル港ノ管海官廳、其港ニ管海官廳ナキトキ又ハ航行中變更ヲ爲シタルトキハ其後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一 第六號書式ノ申請書

二 契約ノ變更被雇者ノ職務ニ係ル場合ニ於テ被雇者海技免狀ヲ有スルトキハ其免狀

第四十二條 第二十六條乃至第二十九條ノ規定ハ海員雇入契約ノ更新又ハ變更ノ公認ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十條第二號及第三號ノ書類又ハ前條第二號ノ書類ハ更新又ハ變更ノ公認アリタルトキ之ヲ雇者ニ還付ス

第四十三條 海員公認ノ認證ヲ申請シタルトキハ管海官廳ハ船員手帖ニ公認及公認ノ認證ノ年月日並第三十一條又ハ第三十二條ノ場合ニ在リテハ公認ノ認證ノ事由及前條ノ場合ニ在リテハ更新又ハ

變更ノ要旨、場所及年月日ヲ記載シ管海官廳ノ印ヲ捺シテ雇止ノ場合ニハ之ヲ海員ニ還付シ其他ノ場合ニハ之ヲ雇者ニ交付ス

第四十四條 船員法第三十四條第一項ニ依リ公認ヲ申請セントスルトキハ左ノ書類ヲ添ヘ海員名簿ヲ作りタル港ノ管海官廳、其港ニ管海官廳ナキトキ又ハ航行中ノ作リタルトキハ其後最初ニ到著シタル港ノ管海官廳ニ之ヲ提出スヘシ

一 第七號書式ノ申請書

二 第二十五條第二號ノ書類

三 被雇者ノ船員手帖現存スルトキハ其手帖前項ノ海員名簿ニハ現ニ雇入期間中ニ係ル海員ニ付テ書式ニ定ムル事項及原官海官廳ニ海員名簿ヲ提出スル場合ニ在リテハ被雇者總員ノ氏名、其他ノ場合ニ在リテハ前項ニ依リ提出スル船員手帖ヲ受有スル被雇者ノ氏名ヲ之ニ記載スヘシ

第二十六條ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十五條 第二十七條及第二十八條ノ規定ハ被雇者全部又ハ一部ノ船員手帖滅失又ハ毀損シタル場合ニ之ヲ準用ス但原管海官廳ニ

前條ノ海員名簿ヲ提出スルトキハ此限ニアラス

第四十六條 船員法第三十四條第一項ノ申請ニ依リ公認ヲ爲シタルトキハ管海官廳ハ海員名簿ニ同項ノ公認ヲ爲シタルコト及公認ノ年月日ヲ記載シ管海官廳ノ印ヲ捺シテ第四十四條第二號及第三號ノ書類ト共ニ之ヲ船長ニ還付ス

第四十七條 第十六條第一項ノ規定ハ認印ニ關スル規定ヲ除ク外第二十五條第三十條第三十一條第三十二條第三十四條第三十五條第四十條第四十一條又ハ第四十四條第二項ニ依リ海員名簿又ハ船員手帖ニ記載ヲ爲スニ當リ文字ヲ訂正、挿入又ハ削除シタル場合ニ之ヲ準用ス此場合ニハ管海官廳ニ於テ公認又ハ公認ノ認證ヲ爲スニ當リ之ニ認印スルニアラサレハ文字ノ訂正、挿入又ハ削除ハ其效ヲ有セス

第四十八條 公認及公認ノ認證ハ管海官廳ニ於テ當事者ノ申請ニ依リ理由アリト認ムルトキハ管海官廳外ノ場所ニ於テ之ヲ行フコトアルヘシ

第五章 手数料

第四十九條 手数料ノ額左ノ知シ

- 一 船員手帖ノ交付又ハ書換 一部ニ付 二十錢
 - 二 船員手帖ノ訂正 船員法第三條第二項ノ事項一箇ニ付 五錢
 - 三 報告書ノ認證 一通ニ付 一圓
 - 四 船長就職又ハ退職ノ認證 一件ニ付 二十錢
 - 五 公認 被雇者一人ニ付 十錢
 - 六 但船員法第三十四條ノ場合ニ於テハ 被雇者一人ニ付 五錢
 - 六 公認ノ認證 一件ニ付 五錢
- 前項ノ手数料ハ第四條又ハ前條ノ場合ニ於テハ前項ニ定ムル所ノ二倍トス

第五十條 前條第一項第一號ノ手数料ハ第八號書式ノ手数料納付

書ニ其金額ニ相當スル收入印紙ヲ貼用シテ之ヲ納付スヘシ
前條第一項第二號乃至第六號ノ手数料ハ逓信大臣ノ告示スル場所ニ於テハ前項ノ規定ニ依リ、其他ノ場所ニ於テハ現金ヲ以テ之ヲ納付スヘシ

前二項ニ依リ貼用シタル印紙ハ管海官廳ニ於テ消印ヲ爲スヘキモ

ノトス但申請者ニ於テ自己ノ便宜上消印ヲ爲スハ妨ナ

第六章 罰則

第五十一條 第十三條第二項第二十條第一項第二十一條第三十一條第二項又ハ第三十二條ニ違反シタル者又ハ第二十二條ノ命令ニ違反シテ管海官廳ニ遺産ヲ差出ササル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

第五十二條 本則ハ船員法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五十三條 從來ノ海員名簿ヲ提出シテ海員雇入ノ公認ヲ申請セントスルトキハ雇者ハ被雇者(海員)氏名、浦役人檢印及事故摘要ノ欄ヲ除ク外其各欄ニ相當ノ事項ヲ記載スヘシ

第五十四條 前條ノ場合ニ於テハ雇者ハ明治年月日雇主ト記載シタル下、被雇者ハ被雇者(海員)氏名ノ欄ニ署名捺印スヘシ

第五十五條 從來ノ海員名簿ヲ提出シテ海員雇入ノ公認ヲ申請セントスルトキハ本則施行前ニ雇入ノ公認ヲ受ケタル者ナルト否トヲ

問ハス雇止ノ事由、場所及年月日ヲ之ニ記載スヘシ

第五十六條 前條ノ規定ハ從來ノ海員名簿ヲ提出シテ海員雇入契約ノ更新又ハ變更ノ公認ヲ申請セントスル場合ニ之ヲ準用ス

第五十七條 前二條ノ場合ニ於テ當事者ヲシテ署名捺印セシムルニハ各條ノ記載ヲ爲シタル次行ニ之ヲ爲サシムヘシ

第五十八條 海員ノ雇止、雇入契約ノ更新又ハ變更ノ公認ニ關シ第三十六條第三十九條第四十二條又ハ第四十六條ニ依リ管海官廳ニ於テ爲スヘキ記載及捺印ハ前條ノ署名捺印ヲ爲シタル次行ニ之ヲ爲ス

第五十九條 船員法施行ノ日ヨリ六個月間ニ海員雇止ノ公認ヲ爲シタルトキハ管海官廳ハ左ノ事項ヲ記載シ管海官廳ノ印ヲ捺シタル書面ヲ海員ニ交付スヘシ

- 一 船舶ノ名稱、番號、積量、船籍港及船舶所有者ノ氏名又ハ名稱
- 二 海員ノ氏名及本籍地
- 三 雇入ノ公認アリタル年月日、場所、海員ノ從事シタル職務及給料

四 雇止ノ公認アリタル年月日、場所及雇止ノ事由

第六十條 從來ノ海員名簿ニシテ二葉以上ノ用紙ヲ綴合セタルモ

ノニハ管海官廳ニ於テ公認ヲ爲ストキ其各葉ニ契印スヘシ

第六十一條 第四章中海員名簿ニ關スル規定ハ前八條ニ於テ特ニ明

文ヲ掲クル場合ヲ除ク外從來ノ海員名簿ニ付テ之ヲ準用ス

第六十二條 最後ノ雇止ノ公認アリタルコトヲ證スル海員雇止證書

又ハ第五十九條ノ書面ハ船員法施行後六個月間ニ雇入ノ公認ヲ受

クル場合及該期間滿了後初メテ雇入ノ公認ヲ受クル場合ニ雇者ヨ

リ之ヲ管海官廳ニ提出スヘシ

前項ニ依リ提出シタル海員雇止證書又ハ第五十九條ノ書面ニハ管

海官廳ニ於テ雇入ノ公認ヲ爲シタルトキ其裏面ニ公認ノ年月日及

船舶ノ名稱ヲ記載シ管海官廳ノ印ヲ捺シテ之ヲ雇者ニ還付スヘシ

第一號書式

船員手帖交付申請書

私儀船員手帖受有致度左ニ氏名其他ノ事項ヲ具シ交付申請候也

(住所)

明治 年 月 日

(氏 名 印)

(管海官廳名)

御 中

一 氏名 (片假名ヲ以テ傍訓ヲ附スヘシ)

二 本籍地

三 身分 (戶主家族ノ別、家族ナルトキハ戶主ノ氏名及戶主トノ續柄ヲ記載スヘシ)

四 出生ノ年月日

第二號書式

明治 年 月 日 交付

第 號

船 員 手 帖

官廳記事										

氏名	本籍地	身分	出生年月日

(管海官廳名印)

三

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

六

年 月 日	期 間	職 務	積 量		船 名	種 類
明治 年 月 日					船 丸	
公認 年 月 日	地 入	給 料	氏 名	船 長	船 籍	船 種
明治 年 月 日						

右雇入公認アリタルコトヲ認証ス
明治 年 月 日

(管海官廳名印)